

WinActor体験セミナー

株式会社NTTデータ

1. はじめに
2. 自動記録機能 (IEモード)
3. 自動記録機能(エミュレーションモード)
4. 画像識別機能(画像マッチング)
5. ライブラリの活用 (Excelファイル操作)
 - ① 指定したセルの値を取得し、業務システム画面に入力する
 - ② 行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する
6. 教育研修のご案内

1.はじめに

「RPA」とは

RPAとは

「Robotic Process Automation」の略語で、主にホワイトカラーの業務を人間に代わりロボットが処理することで作業を自動化する取り組みのことを指します。

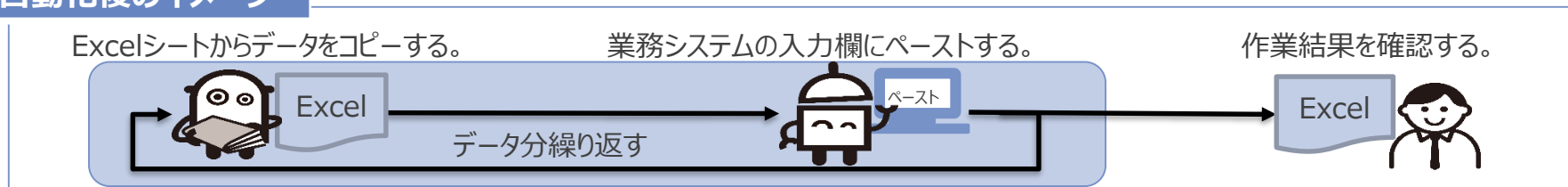
RPAを導入している多くの企業は作業時間の短縮とコストの削減に成功しています。

RPAが得意とする業務例	活用事例
情報が電子化・整理されているもの	Excelファイルのデータをコピーし、業務システムの入力欄にペーストする。
定常的に発生するもの (大量の反復操作が伴うもの)	毎日、一定のタイミングでシステム画面のボタンをクリックして処理を実行する。
処理方針や判断ルールが明確なもの	メールの内容を確認し、決められた条件により、それぞれのシステムに登録する。

自動化前のイメージ



自動化後のイメージ

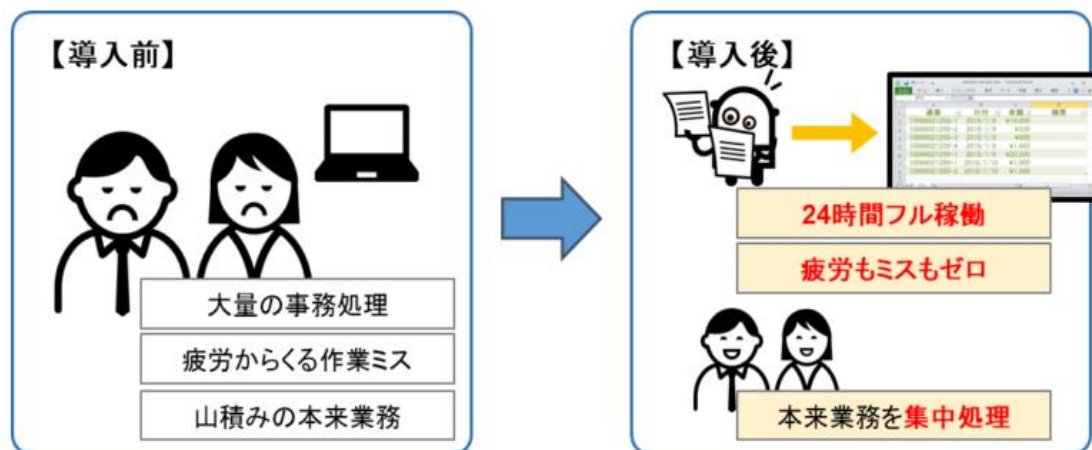


「WinActor」とは

WinActorとは

2010年にNTTグループで研究開発された、Windows端末向けの純国産RPAソリューションです。WinActorは、人が行っている作業の手順をフローチャート図で表現することで自動化します。このフローチャート形式で手順化したものを「シナリオ」と呼びます。プログラミング知識のないユーザでも直感的に操作を行うことができます。WinActorは、人間の作業をただ代替するのではなく、「人間と寄り添い、互いに成長する関係を構築するRPA」を目指しています。

WinActor導入前後のイメージ

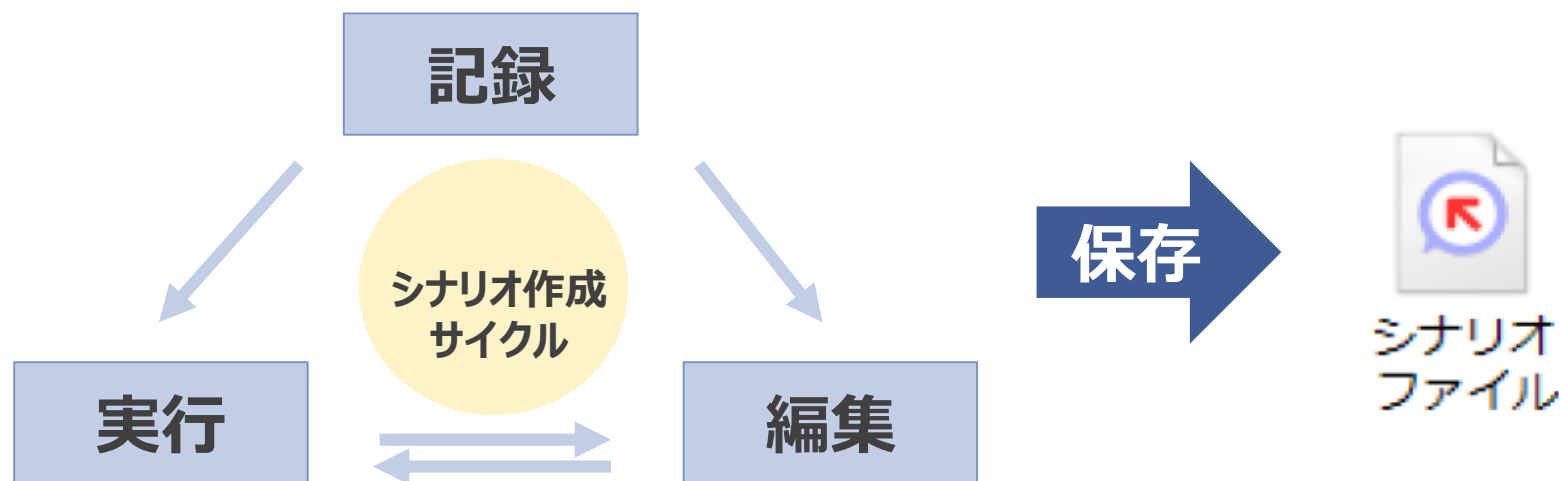


主な3つの機能

WinActorに備わる3つの機能

WinActorには「記録」「編集」「実行」の3つの機能があります。
これらを繰り返しながら、シナリオを作成していきます。
また作成したシナリオは、ファイルとして保存することが可能です。

- ・記録 = ユーザが行った操作をシナリオとして記録します。
- ・編集 = シナリオの順序や繰り返し回数、実行条件などの設定や、処理の追加・削除を行います。
- ・実行 = シナリオに沿って自動操作を行います。



シナリオ実行インターフェース

WinActorでは、以下4つのインターフェースを利用し、シナリオを作成します。



インターフェース	特徴
UI識別型	自動記録を行います。記録対象のアプリケーションごとに4つのモードが用意されています。
画像識別型	指定した画像を操作対象画面から探し出し、同じ画像が見つかったらクリック等の操作を行います。
座標指定型	自動記録を行います。「エミュレーションモード」を使用し、マウス操作の位置、キーボードを押下した順序を記録します。幅広いアプリケーションに対応しています。
ファイル向け	Excel・csvファイルの値を取得したり、Excel・csvファイルへ転記する作業で使用します。

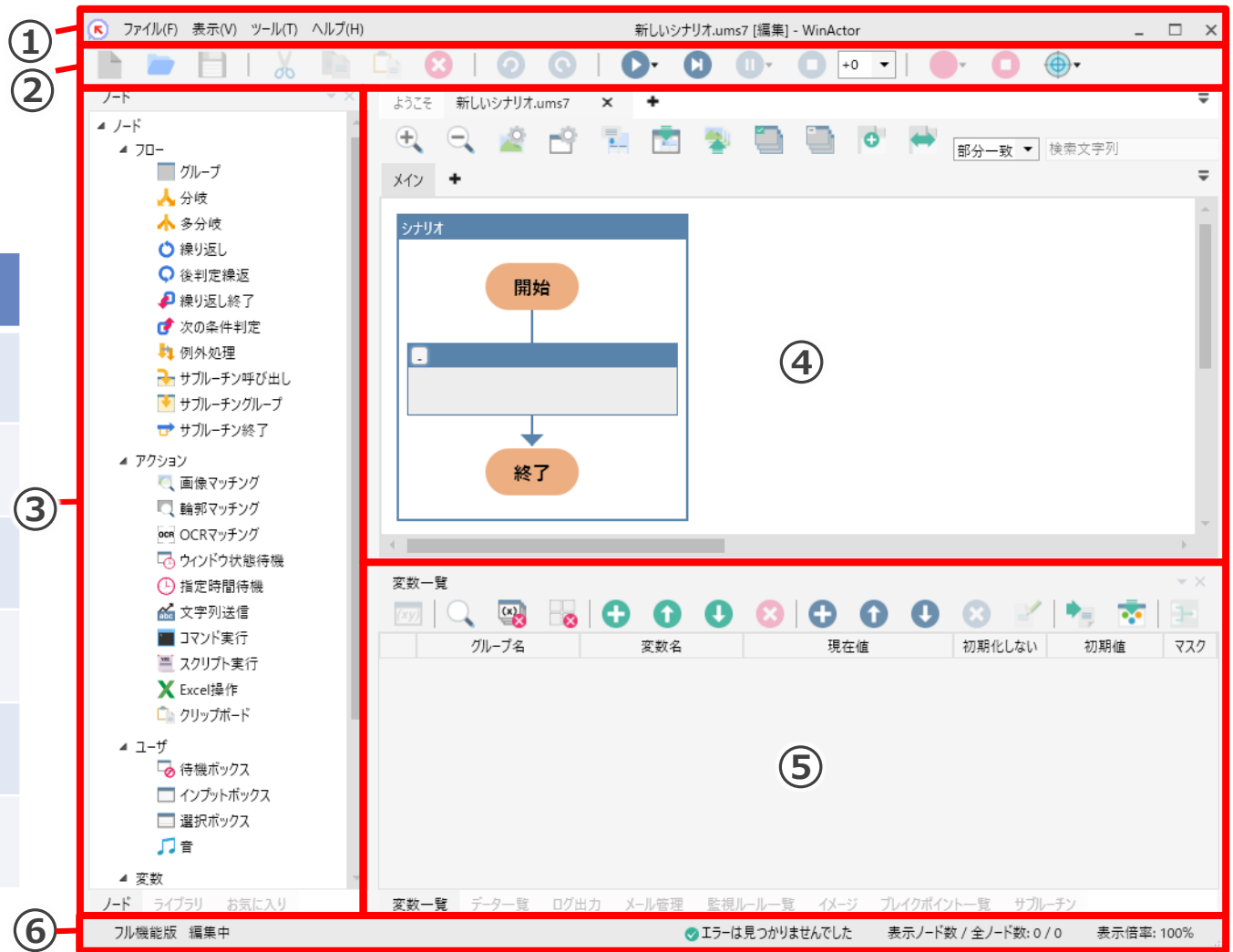
※自動記録とは、ユーザーが行ったマウス・キーボード操作を記録する機能のことです。

画面構成

初期起動画面

WinActorの初回起動時は、以下のような画面構成となっています

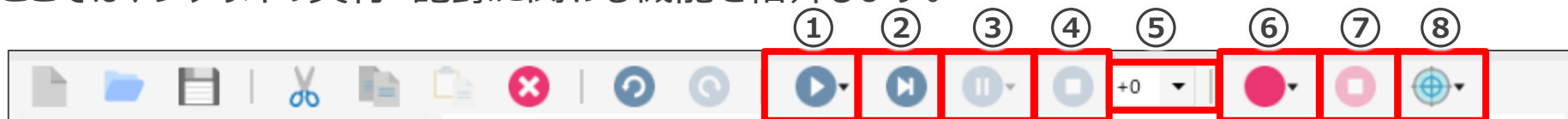
番号	名称
①	メニューバー
②	ツールバー
③	パレットエリア
④	シナリオ編集エリア
⑤	機能編集エリア
⑥	ステータスバー



ツールバー

ツールバー

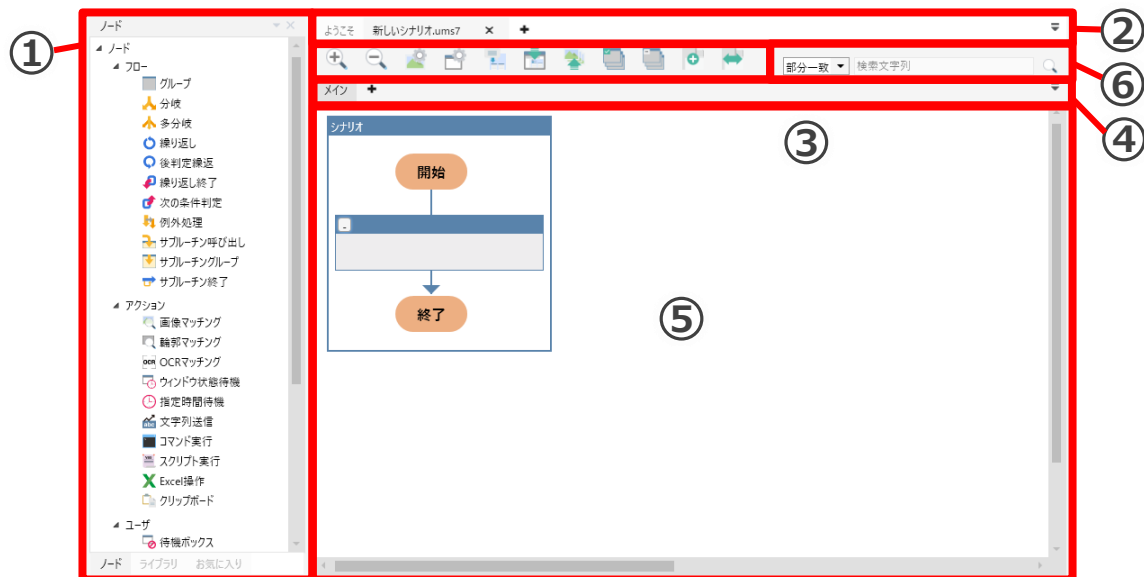
シナリオファイルの保存・読み込み操作、シナリオの実行・編集・記録を指示します。
ここでは、シナリオの実行・記録に関わる機能を紹介します。



番号	名称	機能
①	シナリオ実行ボタン	シナリオを実行します。
②	ステップ実行ボタン	シナリオをステップ実行します。 ※ノード・ライブラリを1つずつ実行します。
③	一時停止ボタン	実行中のシナリオを一時停止します。
④	停止ボタン	実行中のシナリオを停止します。また、シナリオのエラー発生時には「一時停止」状態となり、シナリオの編集や実行が行えなくなるため、その場合もこのボタンで停止します。
⑤	速度調整	シナリオの実行速度を調整します。「+0」は待機時間なしで実行します。各ノードが実行される前に待機が実施されます。数値が増加するごとに0.1秒ずつ待機時間が増加します。
⑥	記録ボタン	シナリオの記録を開始します。 記録対象のアプリケーションを選択すると有効になり、自動的に記録モードが選択されますが右側の▼（記録モード選択メニュー）で他の記録モードに変更することもできます。 ※選択記録対象アプリケーションの種類によって選択できない記録モードがあります。
⑦	記録停止ボタン	シナリオの記録を終了します。
⑧	記録対象アプリケーション選択ボタン	記録対象となるアプリケーションを選択します。

フローチャート画面

パレットエリア・シナリオ編集エリア



番号	名称	説明
①	パレットエリア	「ノード」、「ライブラリ」、「お気に入り」のタブを切り替えて表示します。シナリオ作成に使用する機能（部品）が格納されています。
②	シナリオ切り替えタブ	現在の操作対象のシナリオを切り替えます。
③	フローチャートツールバー	シナリオの実行、編集、記録の操作に関するアイコンが表示されています。
④	フローチャートタブ	現在フローチャートで使用しているタブを切り替えて表示します。
⑤	フローチャート表示エリア	シナリオをフローチャート図で表示する領域となり、シナリオを編集することができるエリアです。
⑥	ノード検索エリア	フローチャート表示エリアのノードを検索します。

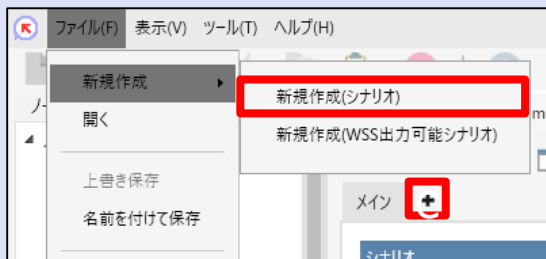
補足①

新規作成(シナリオ)について

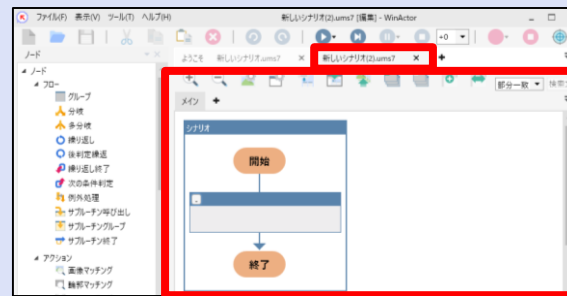
「メニューバー」>「ファイル」>「新規作成 (シナリオ)」は、新しいシナリオを作成するときに選択します。フローチャート画面の現在読み込まれているシナリオや作成中のシナリオとは別のタブに、新しいシナリオが追加され、機能編集エリアの「変数一覧」タブ画面、「データー一覧」タブ画面等が初期状態になります。シナリオは複数開くことができます。

新規作成方法

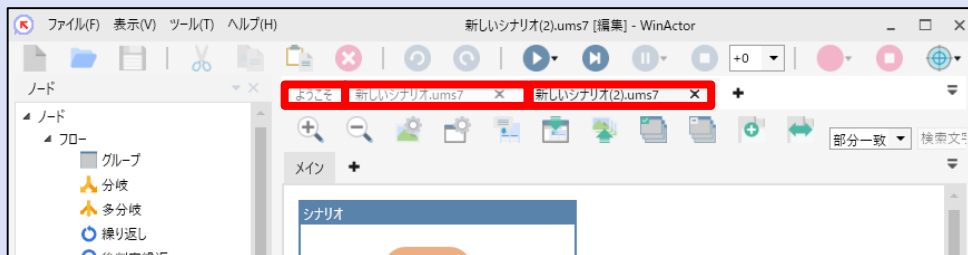
①「メニューバー」>「ファイル」>「新規作成」>「新規作成(シナリオ)」を選択します。※シナリオ切り替えタブにある「+」ボタンをクリックしても、同じように新しいシナリオを追加することができます。



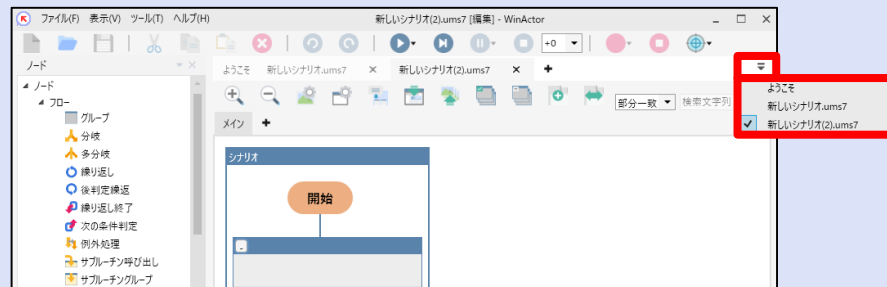
②シナリオ切り替えタブの新しいタブに新しいシナリオが追加されます。



③タブをクリックすることで、表示するシナリオを切り替えることができます。



④シナリオ切り替えタブ右端の▼をクリックして、リストから選択することもできます。



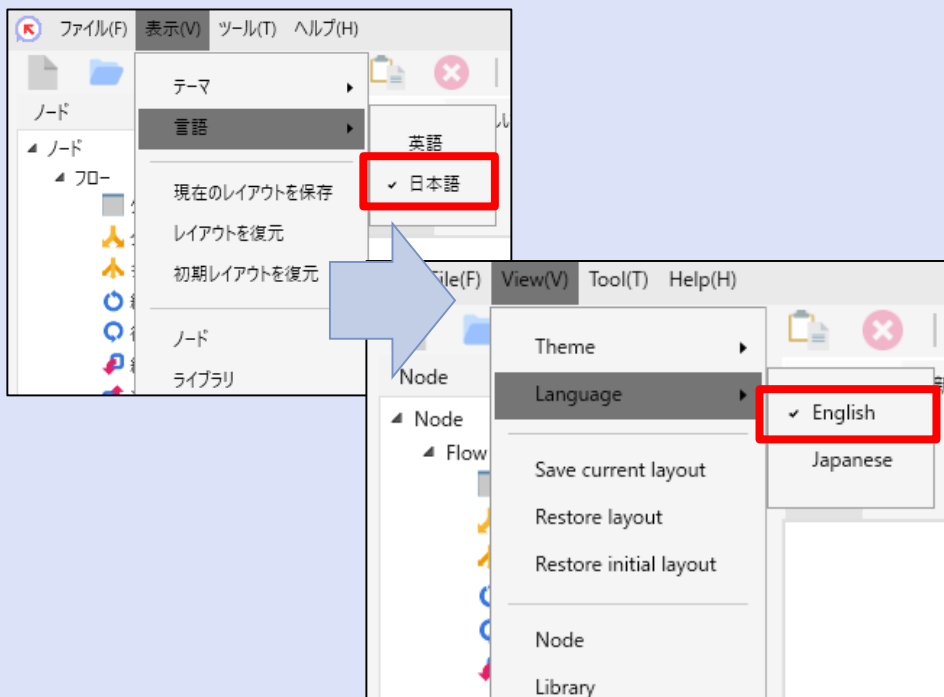
補足②

表示言語について

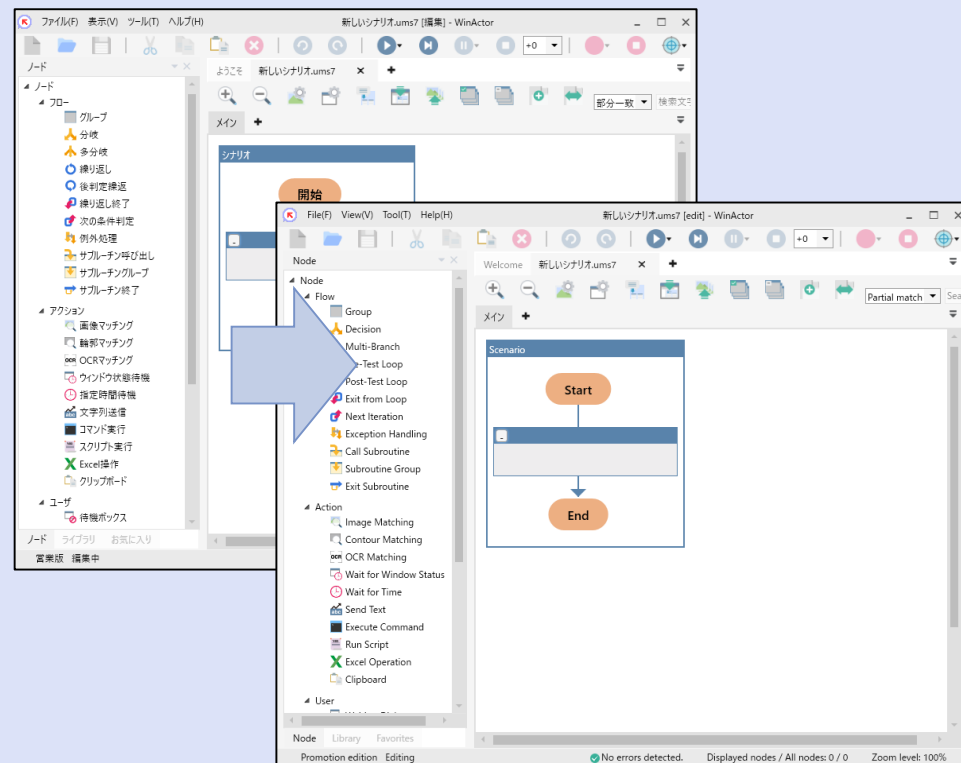
WinActor の言語環境を日本語と英語から選択することができます。
メニューやタブなどの表示言語が切り替わります。
※既に配置済のシナリオやノードの表示言語は変わりません。

切り替え方法

- ①「メニューバー」>「表示」>「言語」>「英語」を選択します。
※デフォルト（製品出荷時）では、「日本語」が設定されています。



- ②「日本語」から「英語」に切り替わります。



初期設定

「変数を自動生成する」について

WinActorでは、取得した値や作業結果などを「変数」に格納します。

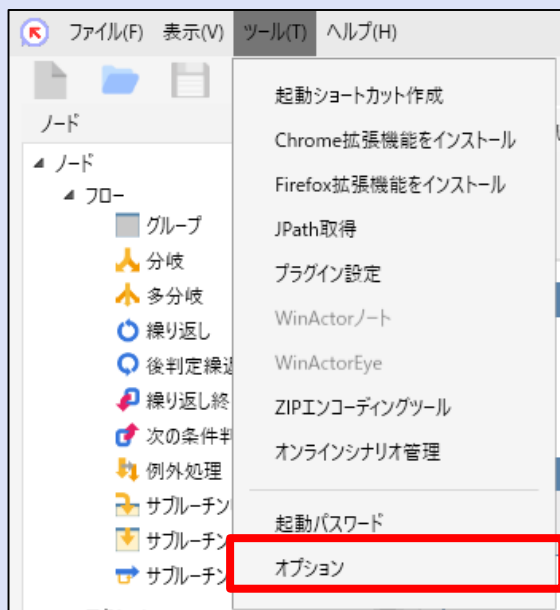
デフォルト（製品出荷時）では、「変数を自動生成する」という設定がされており、操作の自動記録時に変数名を自動的に決定し、ノードを作成します。

（※任意でない名前の「変数」が作成されます。）

本設定を解除することで、意図しないタイミングで変数が作成されなくなるため、変数の管理が容易になります。また、分かりやすい変数名をつけることでシナリオの修正効率向上にもつながります。

設定解除方法

①「メニューバー」>「ツール」>「オプション」を選択します。



②「オプション」画面の「記録」タブに切り替え、「変数を自動生成する」のチェックを外します。「OK」で「オプション」画面を閉じます。



WinActorで自動化する業務について

Excel(csv)ファイルに記載された情報をもとに
チュートリアル画面にカテゴリと商品名を登録する業務

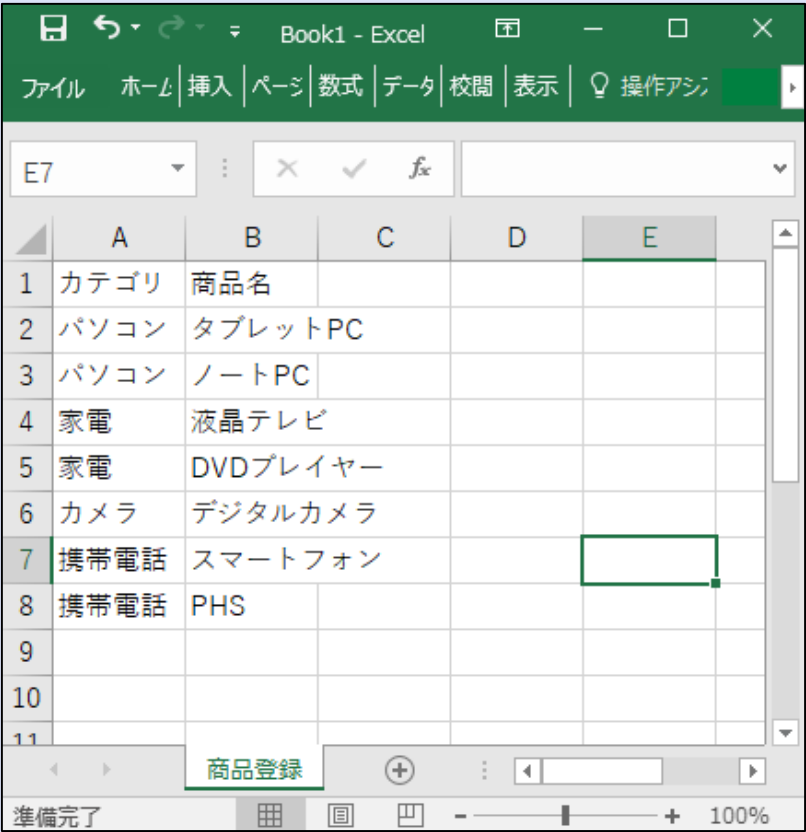
The image shows a WinActor automation process. On the left, an Excel spreadsheet titled '商品登録.csv' contains a list of categories and product names. A red dashed arrow points from the 'カテゴリ' (Category) column to a dropdown menu in the web form, and another red dashed arrow points from the '商品名' (Product Name) column to a text input field. The web form, titled 'チュートリアル', has three numbered callouts: 1 points to the 'カテゴリ' dropdown, 2 points to the '商品名' text input, and 3 points to the '登録' (Register) button. Below the form, a message box displays the registration details: '商品「タブレットPC」が登録されました。' (Product 'Tablet PC' has been registered). A log window below the message shows the following entries:

```
02/10 10:39 [登録:登録]
02/10 10:39 [商品名:タブレットPC]
02/10 10:39 [カテゴリ:パソコン]
```

使用ファイル「商品登録.csv」の作成

- 今回使用するcsvファイルを作成します。
 - ① Excelファイルの新規Bookを作成し、以下のように値とシート名を入力します。
 - ② csv形式にし、「商品登録.csv」というファイル名で任意のフォルダに保存します。

①

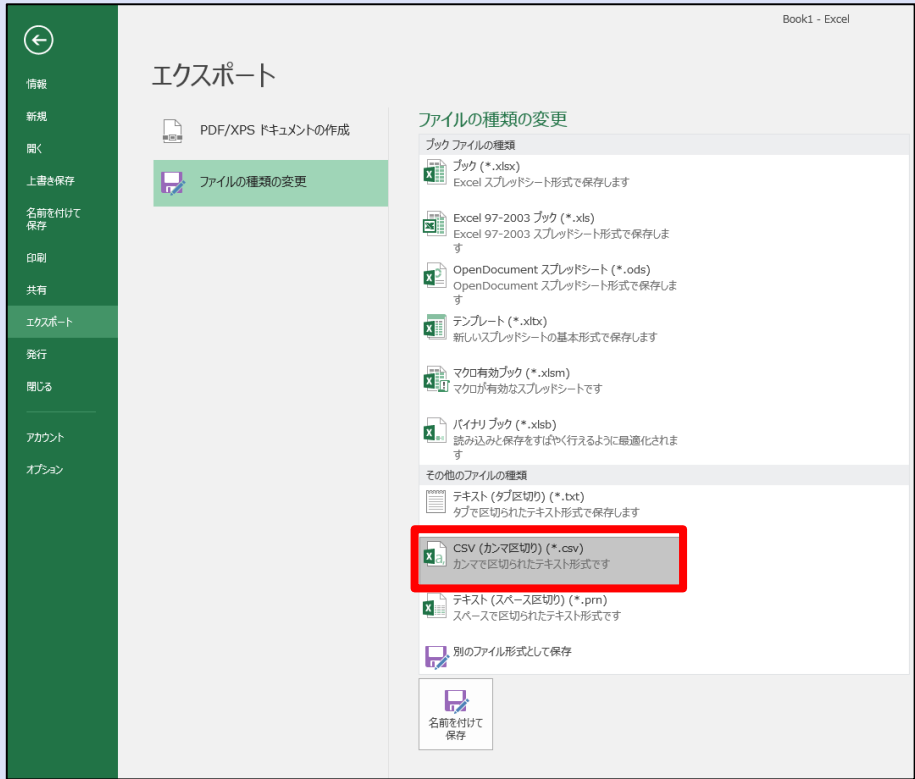


	A	B	C	D	E
1	カテゴリ	商品名			
2	パソコン	タブレットPC			
3	パソコン	ノートPC			
4	家電	液晶テレビ			
5	家電	DVDプレイヤー			
6	カメラ	デジタルカメラ			
7	携帯電話	スマートフォン			
8	携帯電話	PHS			
9					
10					
11					

商品登録

準備完了

②



エクスポート

PDF/XPS ドキュメントの作成

ファイルの種類の変更

ファイルの種類の変更

ブックファイルの種類

- ブック (*.xlsx)
Excel スプレッドシート形式で保存します
- Excel 97-2003 ブック (*.xls)
Excel 97-2003 スプレッドシート形式で保存します
- OpenDocument スプレッドシート (*.ods)
OpenDocument スプレッドシート形式で保存します
- テンプレート (*.xltb)
新しいスプレッドシートの基本形式で保存します
- マクロ有効ブック (*.xlsm)
マクロが有効なスプレッドシートです
- バイナリ ブック (*.xlsb)
読み込みと保存をすばやく行えるように最適化されています

その他のファイルの種類

- テキスト (タブ区切り) (*.txt)
タブで区切られたテキスト形式で保存します
- CSV (カンマ区切り) (*.csv)**
カンマで区切られたテキスト形式です
- テキスト (スペース区切り) (*.prn)
スペースで区切られたテキスト形式です

別のファイル形式として保存

名前を付けて保存

2.自動記録機能(IEモード)

チュートリアルに商品名とカテゴリを登録する

2.自動記録機能(IEモード)

今回は、「チュートリアル.html」画面を使用し、IEモードでIE画面を操作するシナリオを作成します。

カテゴリのプルダウンリストから「パソコン」を選択し、商品名に「タブレット」と入力後、登録ボタンをクリックするという操作を、自動記録でシナリオ化します。

デスクトップに、

- ・WinActor（新規作成画面）
- ・チュートリアル.html

を準備します。



右図のような警告が表示された場合は、「**ブロックされているコンテンツを許可(A)**」をクリックします。


この Web ページはスクリプトや ActiveX コントロールを実行しないように制限されています。

ブロックされているコンテンツを許可(A)

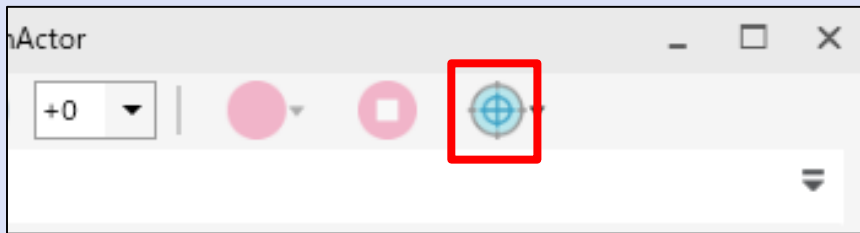
シナリオの記録方法

2.自動記録機能(IEモード)

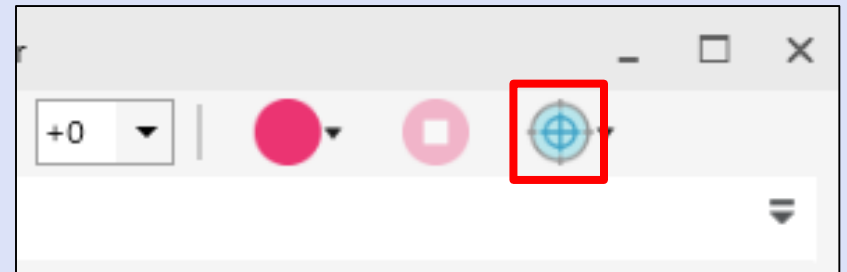
●初めに以下の手順で記録対象の画面を指定します。

- ① 「ツールバー」の「記録対象アプリケーション選択」ボタンをクリックします。
- ② マウスポインタの形状が「」に変わります。
- ③ 「チュートリアル」画面をクリックします。
- ④ 「記録」ボタンが赤色に変わり、「ステータスバー」に「IE:チュートリアル-Internet Explorer」と表示され、記録開始の準備が完了します。

①



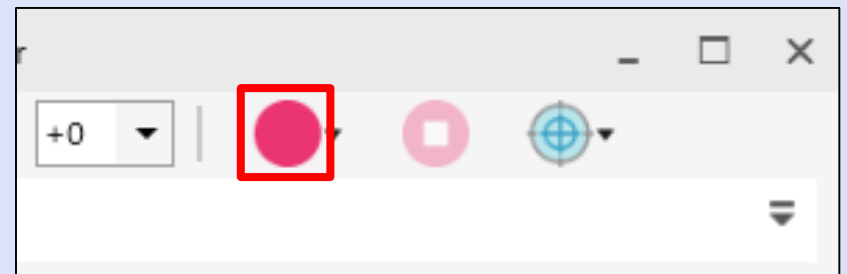
②



③



④



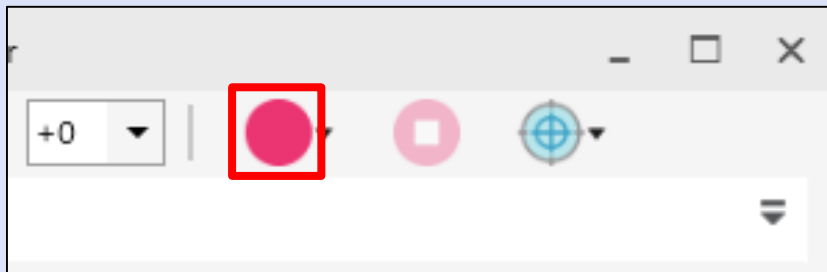
フル機能版 編集 中 **IE:チュートリアル - Internet Explorer**

2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順でプルダウンリストの操作を記録します。

- ⑤「ツールバー」の「記録」ボタンをクリックします。
- ⑥「ステータスバー」に「記録中」と表示されていることを確認します。
- ⑦「チュートリアル」画面の「カテゴリ」から「パソコン」を選択します。
- ⑧操作が「フローチャート表示エリア」に記録されます。

⑤



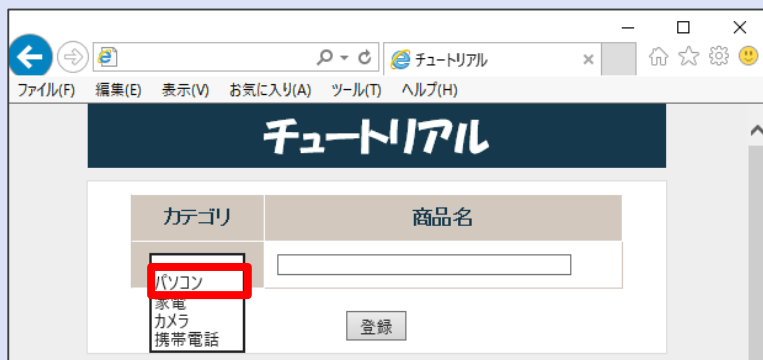
⑥

フル機能版 **編集**中 IE: チュートリアル - Internet Explorer

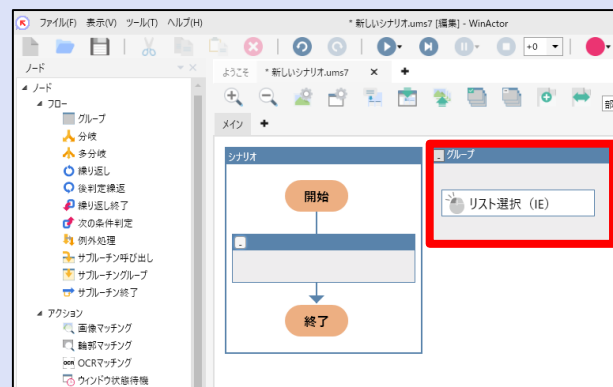


フル機能版 **記録**中 IE: チュートリアル - Internet Explorer

⑦



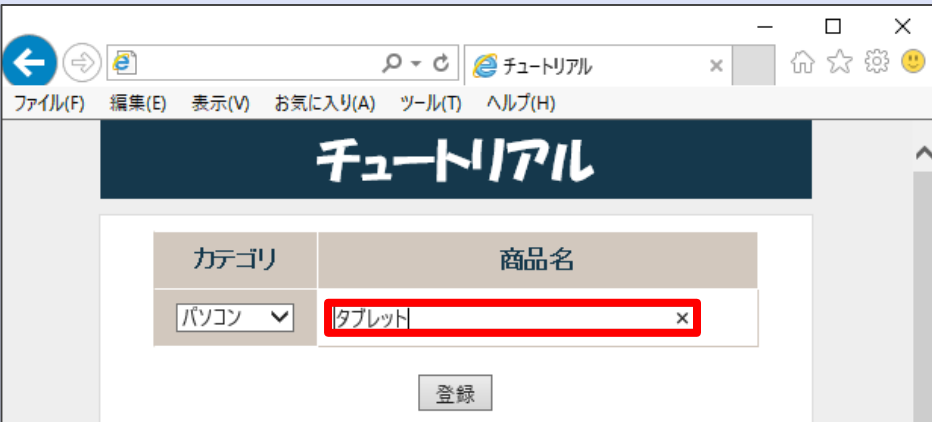
⑧



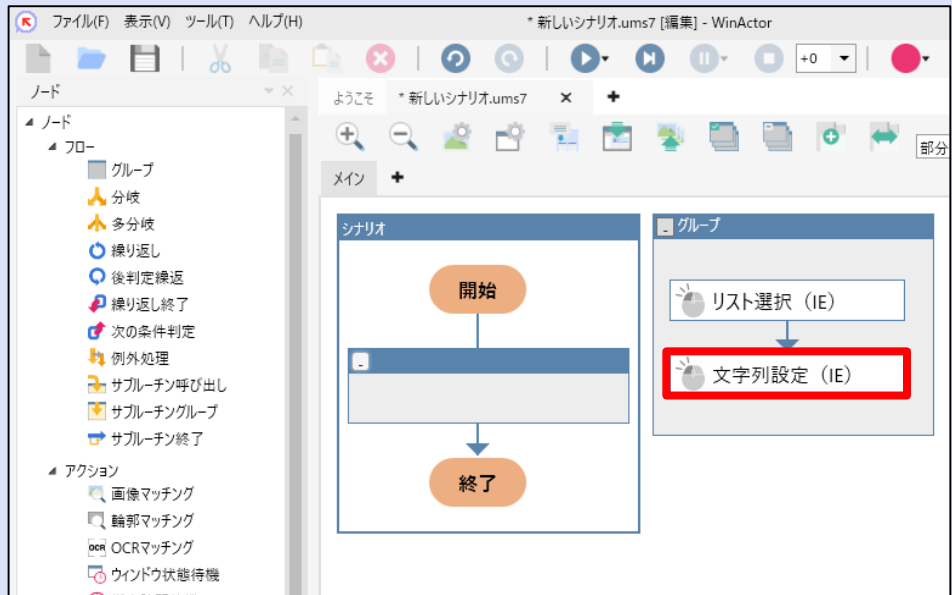
2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でテキスト入力欄への文字入力の操作を記録します。
 - ⑨「チュートリアル」画面の「商品名」に文字列「タブレット」を入力します。
入力完了後、カーソルを移動させるために「Tab」キーを押してください。
 - ⑩操作が「フローチャート表示エリア」に記録されます。

⑨

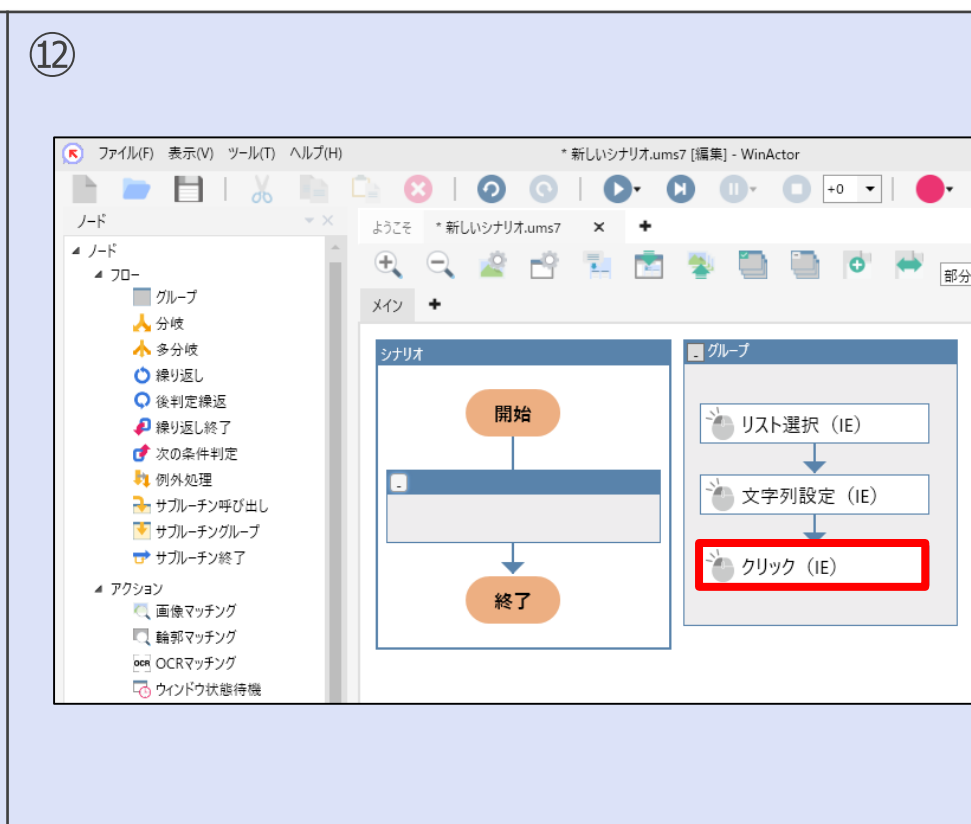


⑩



2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でボタンクリックの操作を記録します。
 - ①「チュートリアル」画面の「登録」ボタンをクリックします。
 - ②操作が「フローチャート表示エリア」に記録されます。



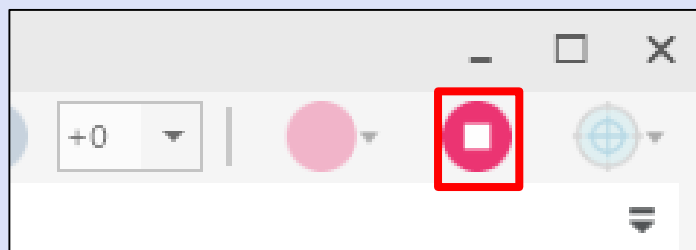
2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順で記録を停止します。

⑬「ツールバー」の「記録停止」ボタンをクリックします。

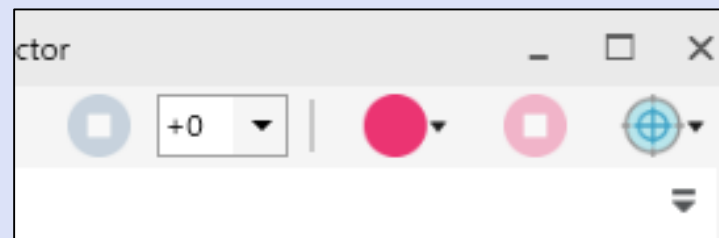
⑭「ステータスバー」に「編集集中」と表示されていることを確認します。

⑬



フル機能版 **記録中** IE: チュートリアル - Internet Explorer

⑭



フル機能版 **編集集中** IE: チュートリアル - Internet Explorer

記録したシナリオの実行方法

2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順でシナリオの実行準備をします。

- ①「グループ」を「シナリオ」の「開始」と「終了」の間の領域へドラッグ & ドロップします。
「グループ」のタイトルバー上にマウスを合わせ、「シナリオ」の領域にドラッグ & ドロップします。
操作のポイントは、マウスポインタを領域へ合わせドロップすることです。

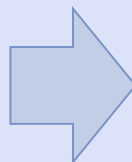
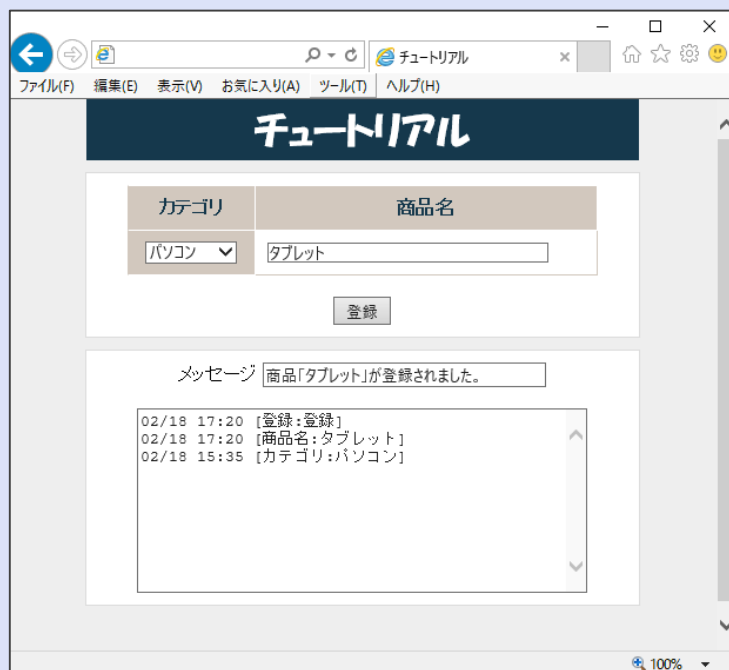
①

The image illustrates the process of adding a group to a scenario in WinActor. On the left, the 'シナリオ' (Scenario) editor shows a flow from '開始' (Start) to '終了' (End). A 'グループ' (Group) containing three IE actions (List Selection, Text Setting, Click) is being dragged from the 'グループ' palette into the scenario area. A red arrow indicates the drag direction. On the right, the resulting scenario shows the group placed between the '開始' and '終了' nodes.

2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でシナリオの実行準備をします。
 - ②「チュートリアル」画面上で「F5」キーを押します。
(もしくは右クリックし、ショートカットメニューの「最新の情報に更新」を選択します。)

②



2.自動記録機能(IEモード)

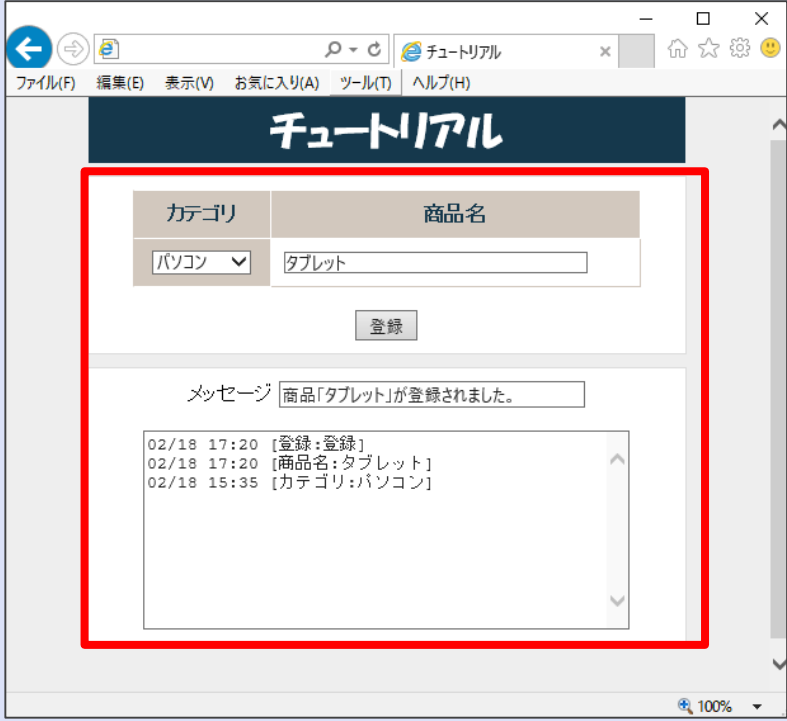
- 次の手順で記録した自動操作シナリオを実行します。
 - ③「ツールバー」の「シナリオ実行」ボタンをクリックします。
 - ④記録時に行った操作と同じ操作が実行されます。

③



いシナリオ.ums7 [編集] - WinActor

④



チュートリアル

カテゴリ	商品名
パソコン	タブレット

登録

メッセージ 商品「タブレット」が登録されました。

02/18 17:20 [登録・登録]
02/18 17:20 [商品名: タブレット]
02/18 15:35 [カテゴリ: パソコン]

フル機能版 **実行中** (0/1) 経過時間 [0]

記録したシナリオの編集方法

2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順でシナリオの編集を行います。

①「シナリオ」の「リスト選択 (IE)」を選択しダブルクリックします。

②「プロパティ」画面上の「選択内容」を「値⇒パソコン」から「値⇒家電」へ書き換えます。

The image illustrates the steps for editing a scenario in IE mode. It is divided into two parts, ① and ②.

① Scenario Editor: A flowchart titled "シナリオ" (Scenario) shows a sequence of steps: "開始" (Start) -> "グループ" (Group) -> "リスト選択 (IE)" (List Selection (IE)) -> "文字列設定 (IE)" (String Setting (IE)) -> "クリック (IE)" (Click (IE)) -> "終了" (End). The "リスト選択 (IE)" step is highlighted with a red box.

② Property Dialog: Two screenshots of the "プロパティ" (Property) dialog box for the "リスト選択 (IE)" step are shown. The top screenshot shows the "選択内容" (Selection Content) dropdown menu set to "値⇒パソコン" (Value⇒PC), which is highlighted with a red box. The bottom screenshot shows the same dialog box after the value has been changed to "値⇒家電" (Value⇒Appliance), also highlighted with a red box. A blue arrow points from the top screenshot to the bottom one, indicating the change.

2.自動記録機能(IEモード)

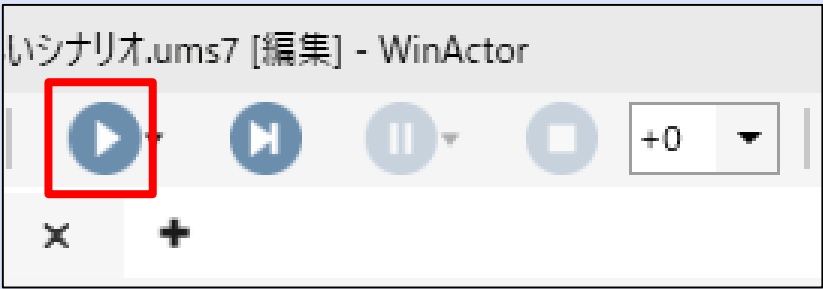
●次の手順で編集したシナリオを実行します。

③「ツールバー」の「シナリオ実行」ボタンをクリックします。

④編集した通り「カテゴリ：家電」が選択されます。

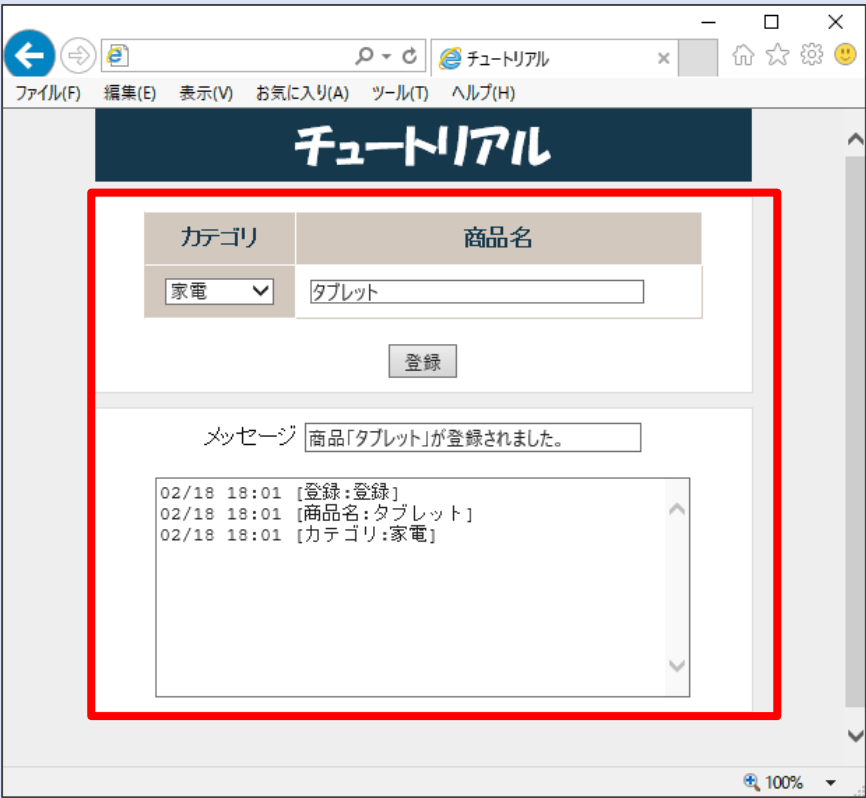
このように「シナリオ」を編集するには対象のノードの「プロパティ」画面を編集します。

③



いシナリオ.ums7 [編集] - WinActor

④



チュートリアル

カテゴリ	商品名
家電	タブレット

登録

メッセージ 商品「タブレット」が登録されました。

02/18 18:01 [登録:登録]
02/18 18:01 [商品名:タブレット]
02/18 18:01 [カテゴリ:家電]

フル機能版 **実行中** (0/1) 経過時間 [0]

3. 自動記録機能 (エミュレーションモード)

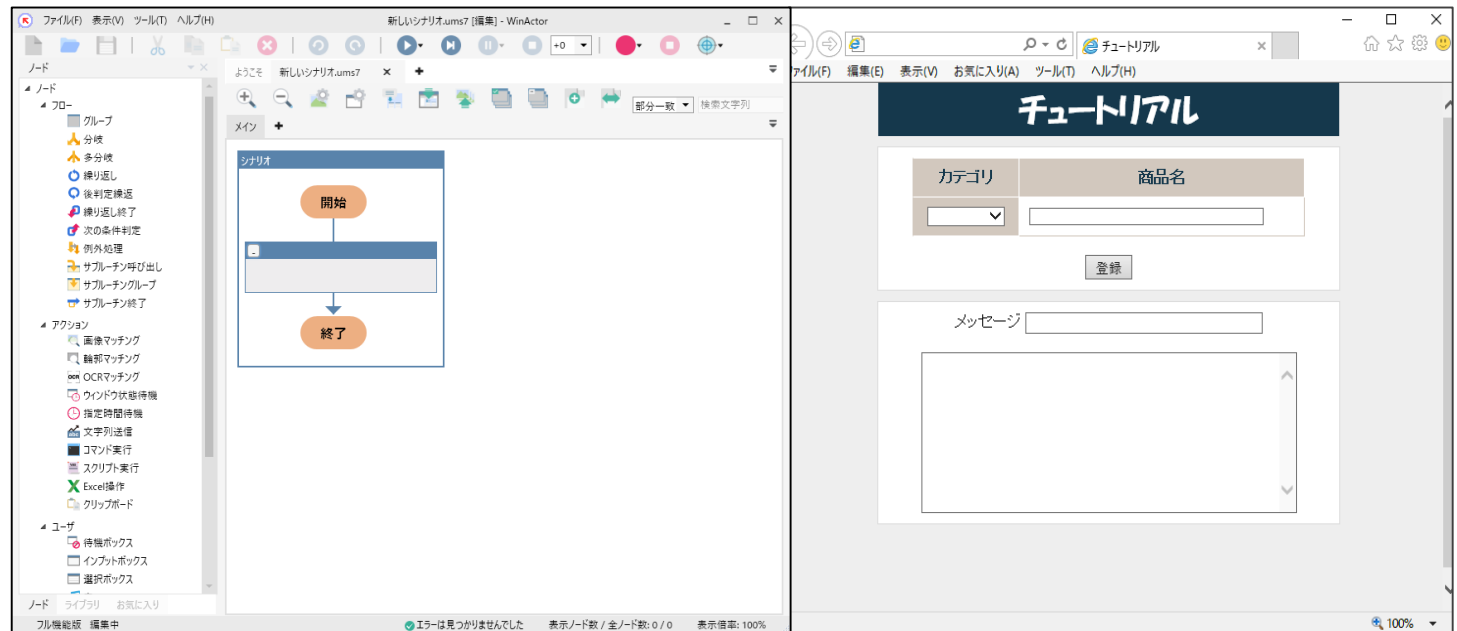
エミュレーションモードで
ショートカットキー操作を自動記録する

3. 自動記録機能(エミュレーションモード)

エミュレーションモードはマウスをクリックした位置、キーボードを操作した順序を記録します。OfficeアプリケーションやIE以外のブラウザ画面操作等、IEモードやイベントモードで記録できない場合にも使います。


本編では、「チュートリアル.html」画面を使用し、エミュレーションモードでIE画面を操作するシナリオを作成します。

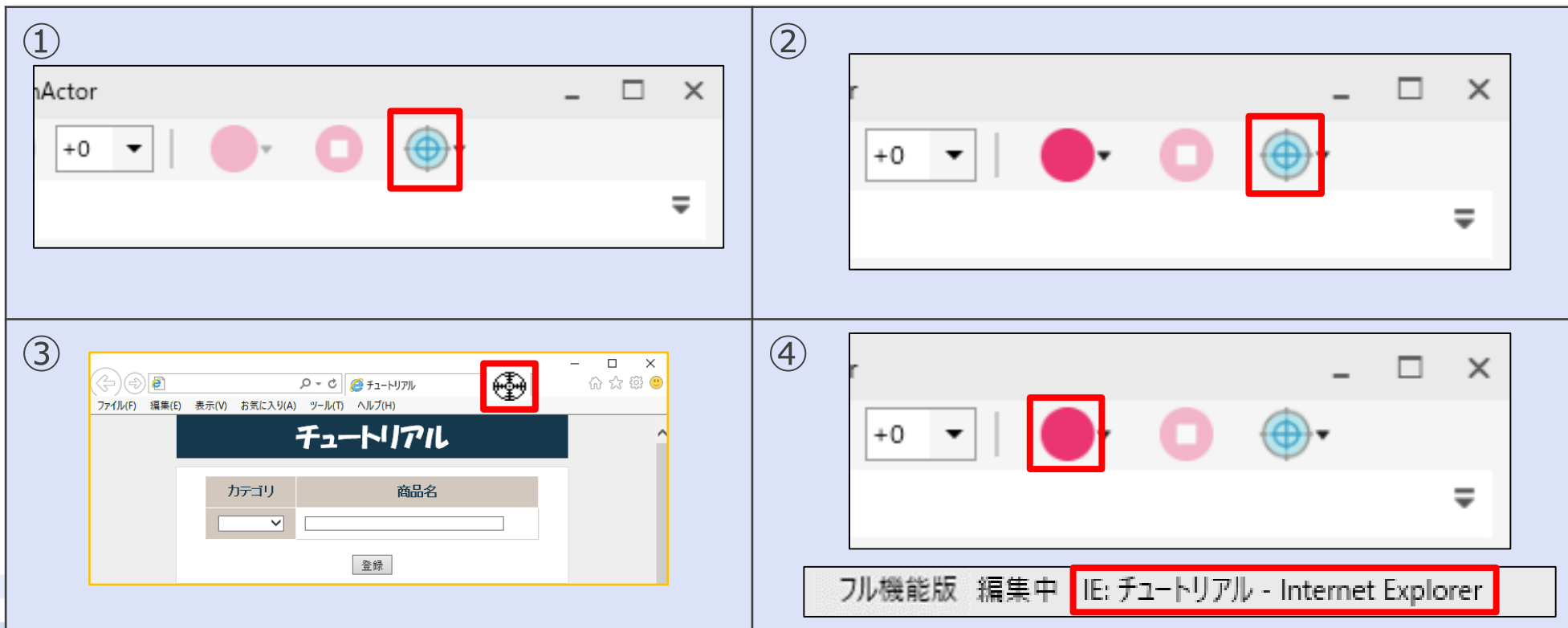
キーボードショートカットでIE画面を初期化する操作を自動記録でシナリオ化します。



3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●以下の手順で記録対象の画面を指定します。

- ① 「ツールバー」の「記録対象アプリケーション選択」ボタンをクリックします。
- ② マウスポインタの形状が「」に変わります。
- ③ 「チュートリアル」画面をクリックします。
- ④ 「記録」ボタンが赤色に変わり、「ステータスバー」に「IE:チュートリアル-Internet Explorer」と表示されます。



The figure consists of four numbered screenshots illustrating the process of selecting a recording target application in an emulator.

- ①** A screenshot of the emulator's toolbar. The 'Record Target Application Selection' button, represented by a blue crosshair icon, is highlighted with a red square.
- ②** A screenshot of the same toolbar. The mouse cursor is now a blue crosshair, and the 'Record Target Application Selection' button remains highlighted with a red square.
- ③** A screenshot of a web browser window displaying a 'チュートリアル' (Tutorial) page. The blue crosshair mouse cursor is positioned over the browser window and is highlighted with a red square.
- ④** A screenshot of the emulator's toolbar. The 'Record' button, represented by a pink circle icon, is now highlighted with a red square. Below the toolbar, the status bar displays 'フル機能版 編集 中 IE: チュートリアル - Internet Explorer', with the text 'IE: チュートリアル - Internet Explorer' highlighted by a red rectangle.

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順で記録モードをエミュレーションに変更し記録を開始します。

⑤「記録」ボタンの右にある▼をクリックしてプルダウンリストを表示します。

⑥プルダウンリストから「エミュレーション」を選択します。

⑦「ステータスバー」に「エミュレーション:チュートリアル-Internet Explorer」と表示されていることを確認します。

⑧「ツールバー」の「記録」ボタンをクリックします。

⑤

⑥

⑦

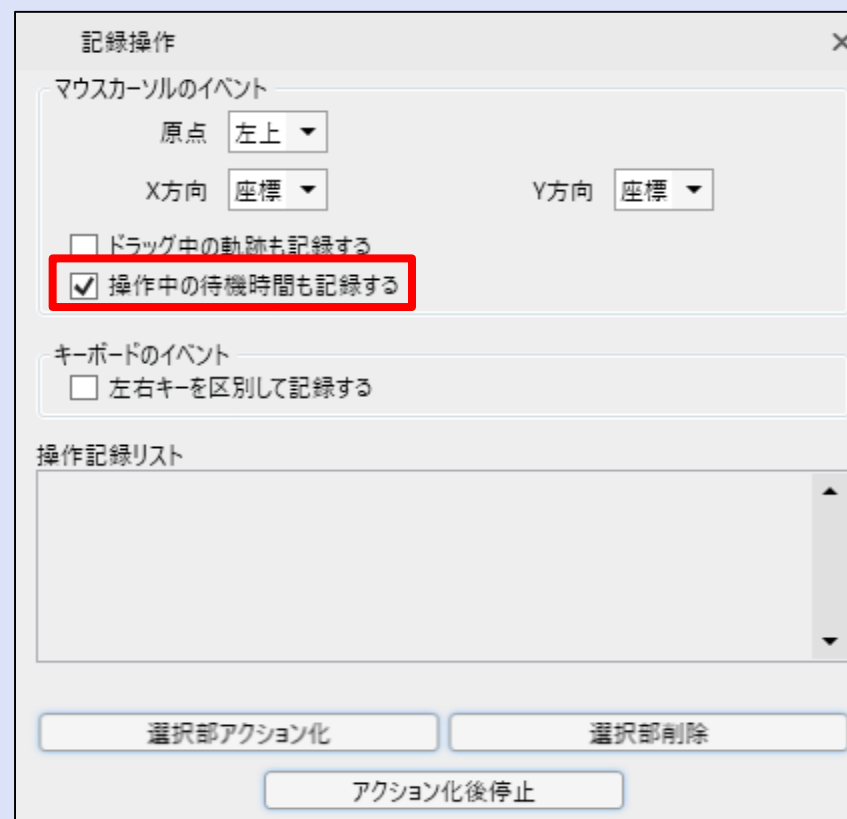
⑧

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●エミュレーションの記録を開始すると、記録操作画面が表示されます。記録対象の「チュートリアル」画面は緑色の枠が表示されます。

⑨「操作中の待機時間も記録する」からチェックを外します。

⑨



3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でチュートリアル画面のキーボード操作を記録します。

⑩「チュートリアル画面」のタイトルバー付近をクリックします。

⑪「F5」キーを押下

The image shows two side-by-side screenshots illustrating the recording process. The left screenshot, labeled ⑩, shows a web browser window titled 'チュートリアル' (Tutorial). The browser's title bar is highlighted with a red box, and a mouse cursor is clicking on it. The page content includes a search form with 'カテゴリ' (Category) and '商品名' (Product Name) fields, a '登録' (Register) button, and a 'メッセージ' (Message) field. The right screenshot, labeled ⑪, shows the '記録操作' (Recording Operation) dialog box. It has sections for 'マウスカーソルのイベント' (Mouse cursor events) and 'キーボードのイベント' (Keyboard events). Under mouse events, '原点' (Origin) is set to '左上' (Top-left), 'X方向' (X direction) is '座標' (Coordinates), and 'Y方向' (Y direction) is '座標' (Coordinates). There are checkboxes for 'ドラッグ中の軌跡も記録する' (Record drag path) and '操作中の待機時間も記録する' (Record wait time during operation), both of which are unchecked. Under keyboard events, there is a checkbox for '左右キーを区別して記録する' (Record left and right keys separately), which is also unchecked. The '操作記録リスト' (Operation recording list) shows the following actions: 'マウス[左ボタン]をDown : 左上 (459,116)', 'マウス[左ボタン]をUp : 左上 (459,116)', 'キーボード[F5]をDown', and 'キーボード[F5]をUp'. At the bottom, there are buttons for '選択部アクション化' (Actionize selection), '選択部削除' (Delete selection), and 'アクション化後停止' (Stop after actionization).

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順で記録を停止します。

⑫「記録操作」画面の「アクション化後停止」ボタンをクリックします。

⑬作成されたシナリオが「フローチャート表示エリア」に表示されます。

The image consists of two side-by-side screenshots from the WinActor software interface.

Left Screenshot (Step 12): Shows the '記録操作' (Recording Operation) dialog box. It has sections for 'マウスカーソルのイベント' (Mouse cursor events) with dropdowns for '原点' (Origin) set to '左上' (Top-left) and 'X方向' (X direction) set to '座標' (Coordinates), and 'Y方向' (Y direction) set to '座標'. There are checkboxes for recording drag paths and wait times. A '操作記録リスト' (Operation recording list) shows recorded actions like 'マウス[左ボタン]をDown' and 'マウス[左ボタン]をUp'. At the bottom, there are buttons for '選択部アクション化' (Actionize selection area) and '選択部削除' (Delete selection area). The 'アクション化後停止' (Stop after actionization) button is highlighted with a red box.

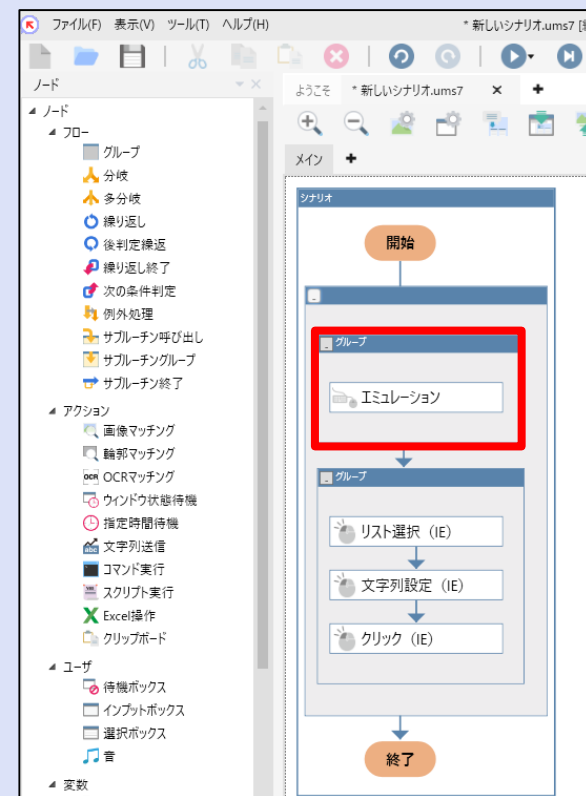
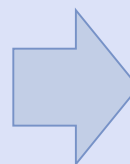
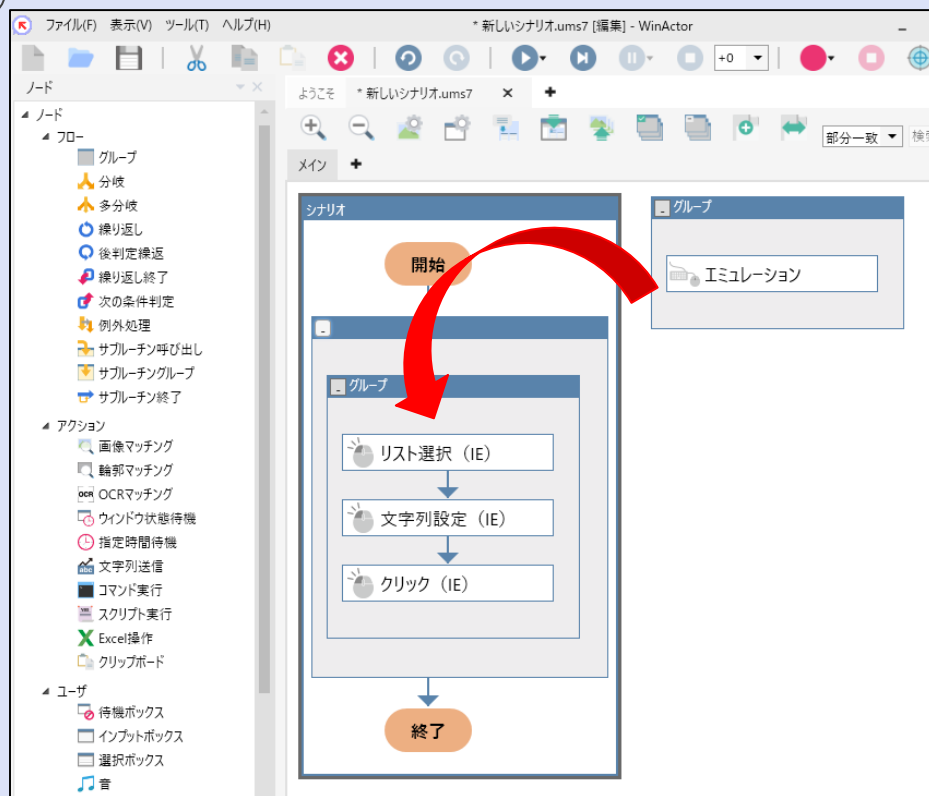
Right Screenshot (Step 13): Shows the main WinActor interface with a flowchart displayed. The flowchart starts with '開始' (Start), goes to a 'グループ' (Group) containing 'リスト選択 (IE)', '文字列設定 (IE)', and 'クリック (IE)', and ends with '終了' (End). A 'グループ' (Group) box on the right side of the interface is highlighted with a red box and contains the 'エミュレーション' (Emulation) button.

3. 自動記録機能(エミュレーションモード)

● 次の手順でシナリオ実行の準備をします。

⑭ 「エミュレーション」の入った「グループ」を「IEモード」で作成した「シナリオ」の上にドラッグ&ドロップします。

⑭

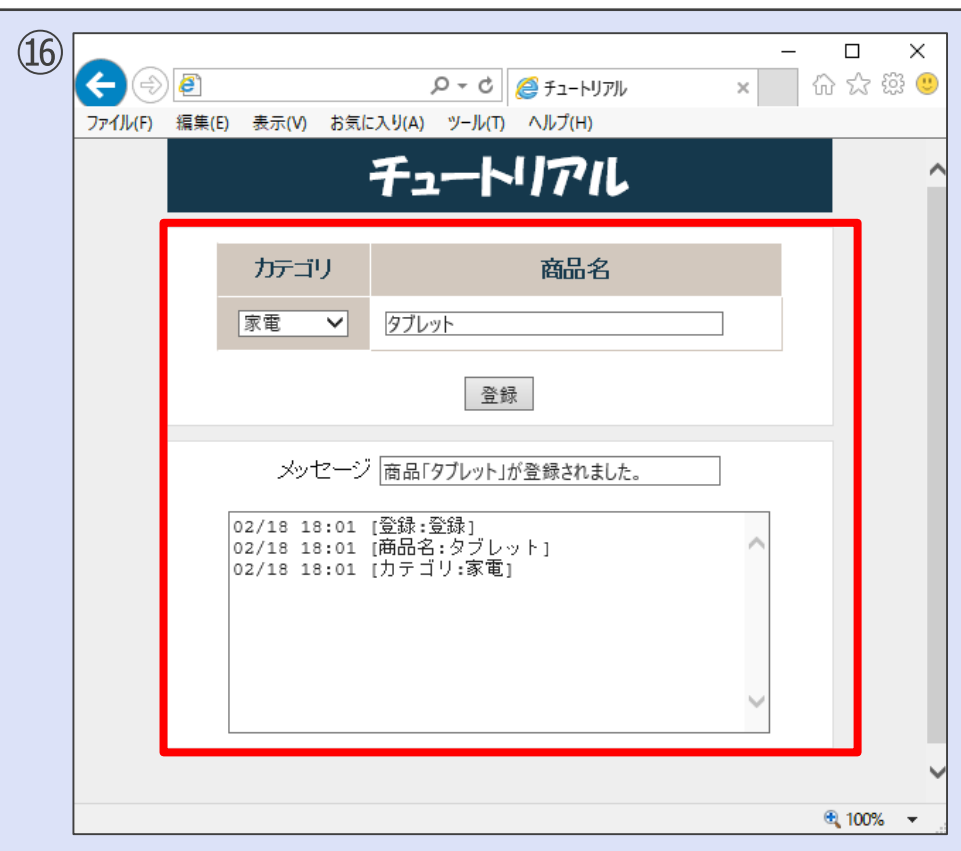


3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でシナリオを実行します。

⑮「ツールバー」の「シナリオ実行」ボタンをクリックします。

⑯キーボード操作を再現することによって、「チュートリアル」画面で初期化が行われた後、登録作業が行われます。



4.画像識別機能(画像マッチング)

ボタンを画像識別させ、クリックする

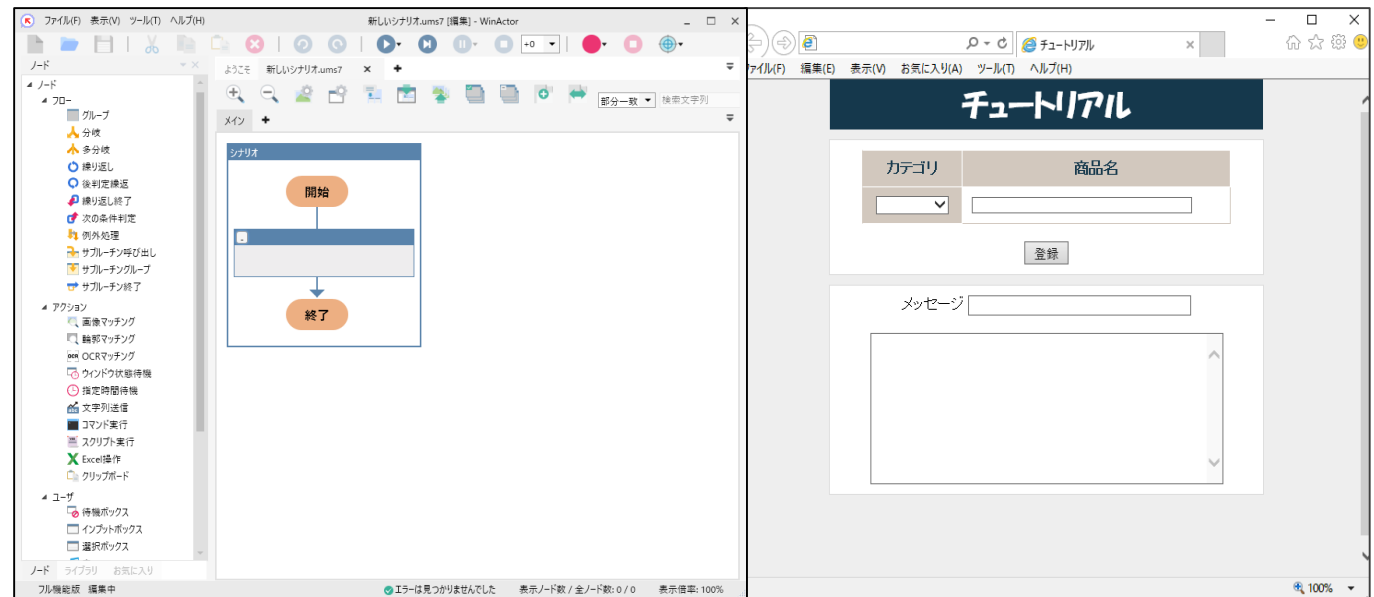
4.画像識別機能(画像マッチング)

画像マッチングは、対象となるアプリケーションの画面と、指定した画像のマッチングを行い、その結果を取得します。

また、マッチングが成立した場合、その箇所や指定した箇所に対しクリック等のマウス操作を行うことが出来る機能です。

今回は、「チュートリアル.html」画面を使用し、画像マッチングでIE画面を操作するシナリオを作成します。

「登録」ボタンをクリックする、という操作をシナリオ化します。



4.画像識別機能(画像マッチング)

●次の手順でノード「画像マッチング」を配置します。

- ①「シナリオ」内の「クリック (IE)」を「シナリオ」の枠外に出します。
- ②「ノード」パレット>「アクション」フォルダ>「画像マッチング」を「文字列設定 (IE)」の下の領域にドラッグ&ドロップします。

The image consists of two side-by-side screenshots of the WinActor software interface, illustrating the steps to add an 'Image Matching' node to a scenario.

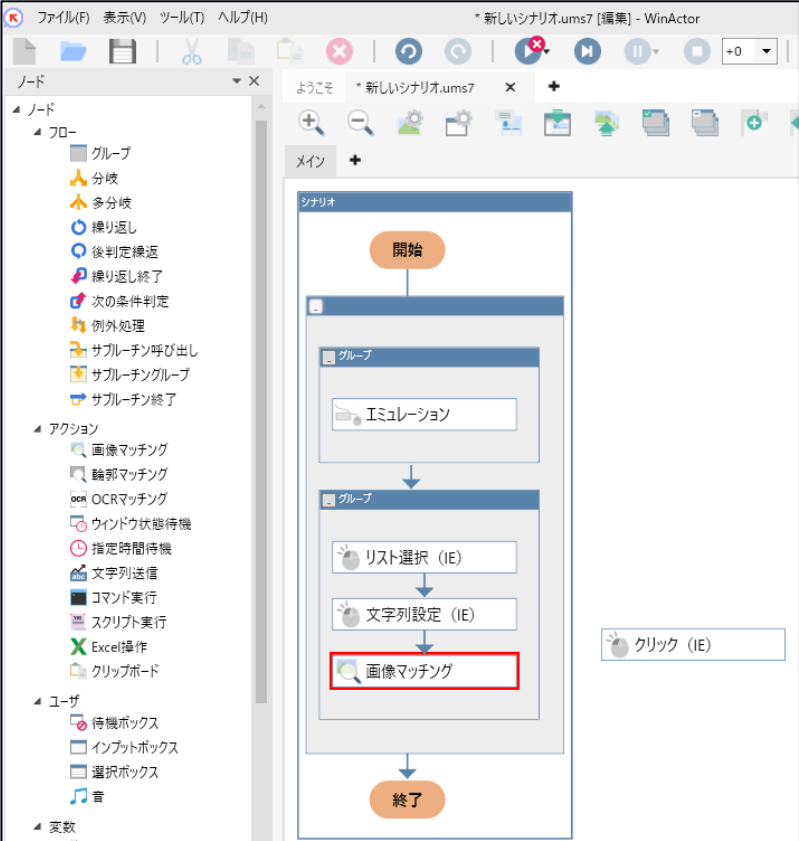
Left Screenshot (Step 1): The 'ノード' (Node) palette on the left shows the 'アクション' (Action) folder expanded. The 'クリック (IE)' (Click) node is highlighted with a red box. A red arrow points from this node to the 'シナリオ' (Scenario) canvas. In the canvas, a flowchart is visible with nodes: '開始' (Start), 'グループ' (Group) containing 'エミュレーション' (Emulation), another 'グループ' containing 'リスト選択 (IE)' (List Selection) and '文字列設定 (IE)' (Text Setting), and '終了' (End). The 'クリック (IE)' node is currently positioned outside the main scenario frame.

Right Screenshot (Step 2): The 'アクション' folder in the 'ノード' palette is expanded, and the '画像マッチング' (Image Matching) node is highlighted with a red box. A red arrow points from this node to the 'シナリオ' canvas. In the canvas, the 'クリック (IE)' node has been moved to the right side of the flowchart, below the '文字列設定 (IE)' node. The '画像マッチング' node is now being dragged into the space between '文字列設定 (IE)' and 'クリック (IE)'. The 'シナリオ' canvas also shows the 'エミュレーション' node and the 'グループ' containing 'リスト選択 (IE)' and '文字列設定 (IE)'. The '終了' (End) node is at the bottom.

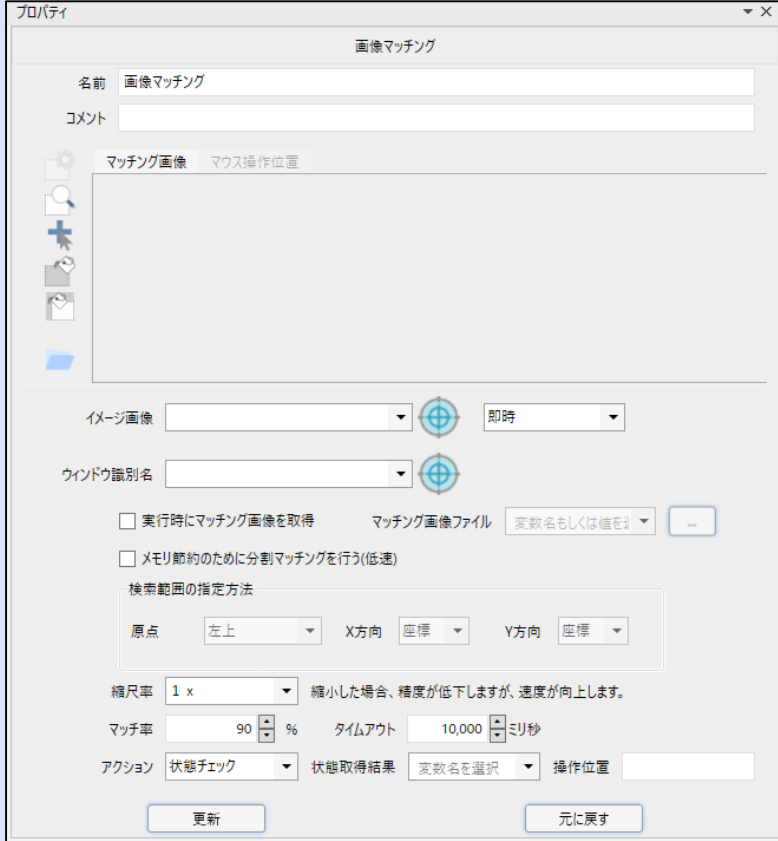
4.画像識別機能(画像マッチング)

- 次の手順で「画像マッチング」の「プロパティ」画面を開きます。
- ③「シナリオ」内の「画像マッチング」をダブルクリックします。
- ④「画像マッチング」の「プロパティ」画面が表示されます。

③



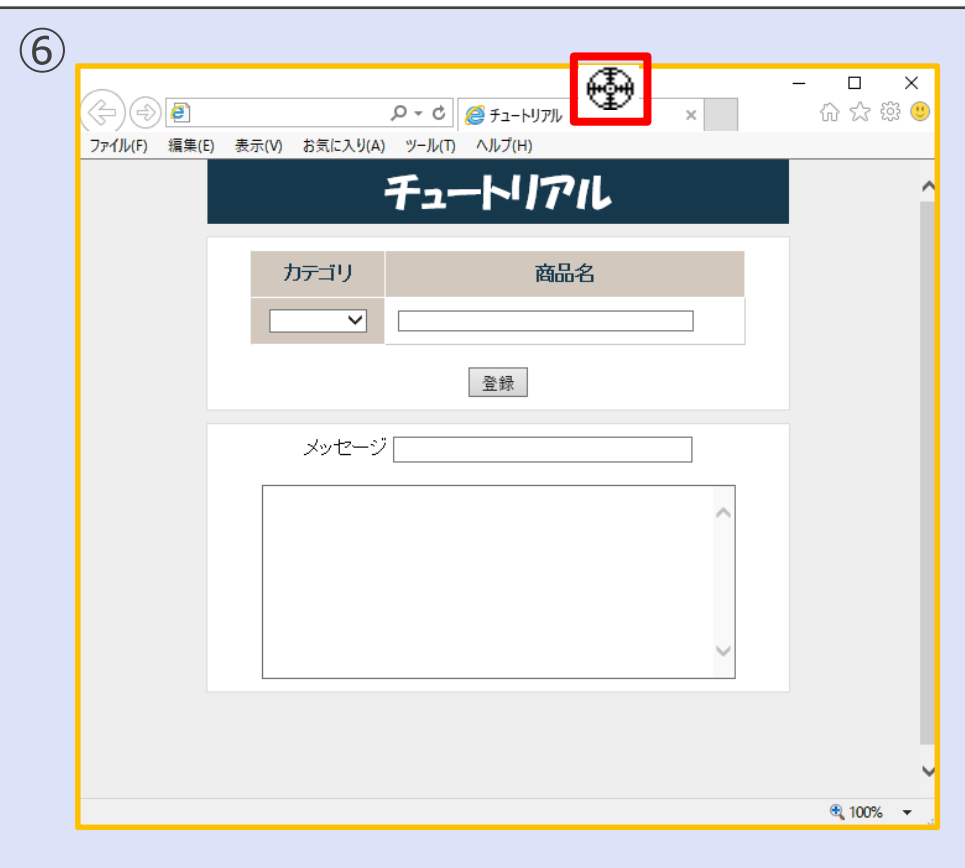
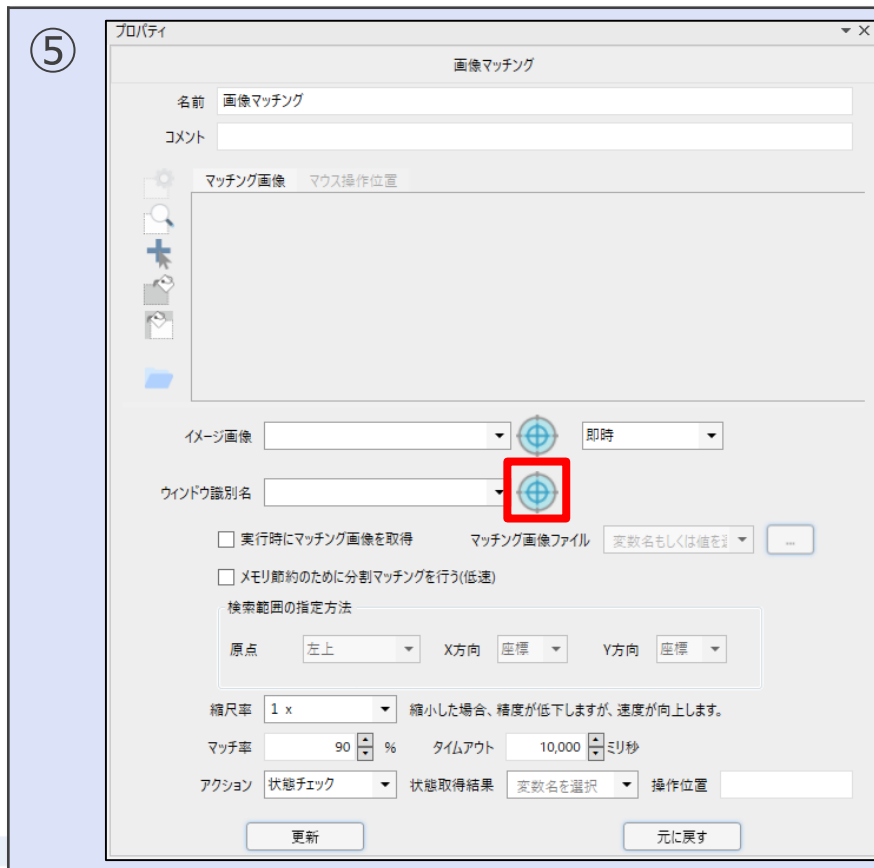
④



The image shows two screenshots from the WinActor software. The left screenshot, labeled '3', shows the scenario editor interface. A flowchart is visible with several actions. The 'Image Matching' action is highlighted with a red rectangular box. The right screenshot, labeled '4', shows the 'Image Matching' property dialog box. It contains fields for 'Name' (画像マッチング), 'Comment', 'Matching Image', 'Window Name', and various settings for search area, scale, and timeout. The 'Update' (更新) button is visible at the bottom.

4.画像識別機能(画像マッチング)

- 次の手順で、対象となるアプリケーションウィンドウを指定します。
 - ⑤「プロパティ」画面の「ウィンドウ識別名」の「ターゲット選択」ボタンをクリックします。
 - ⑥「チュートリアル」画面のタイトルバー付近をクリックします。

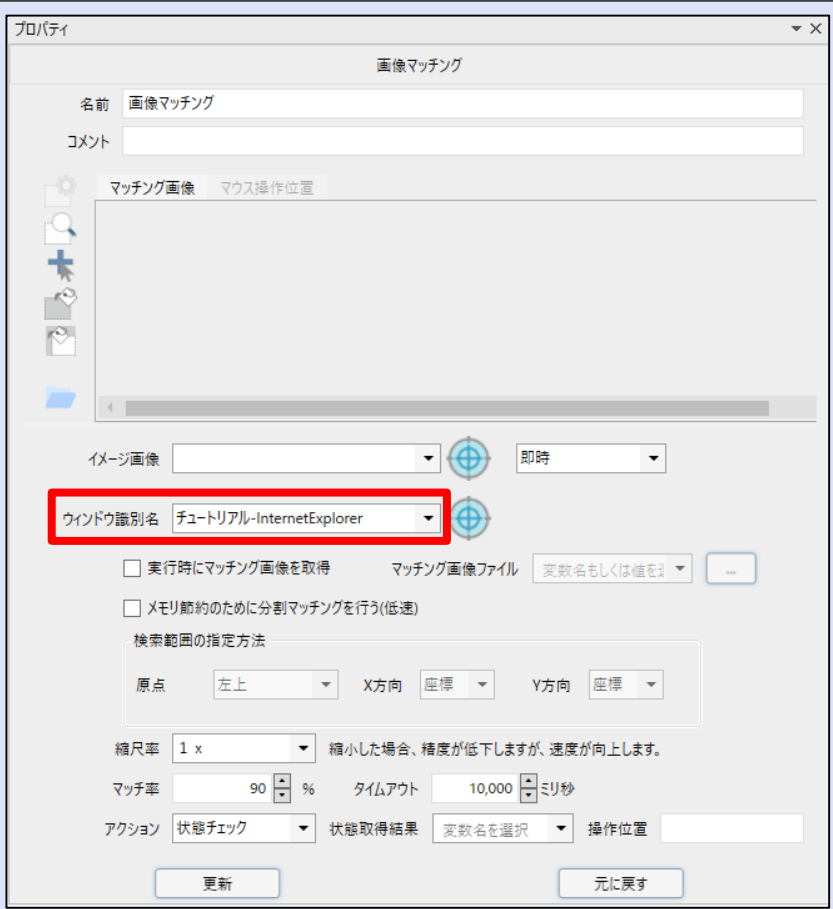


4.画像識別機能(画像マッチング)

- 対象となるアプリケーションウィンドウ名を確認します。

⑦「プロパティ」画面の「ウィンドウ識別名」に「Menu画面-Internet Explorer」と取り込まれていること確認してください。

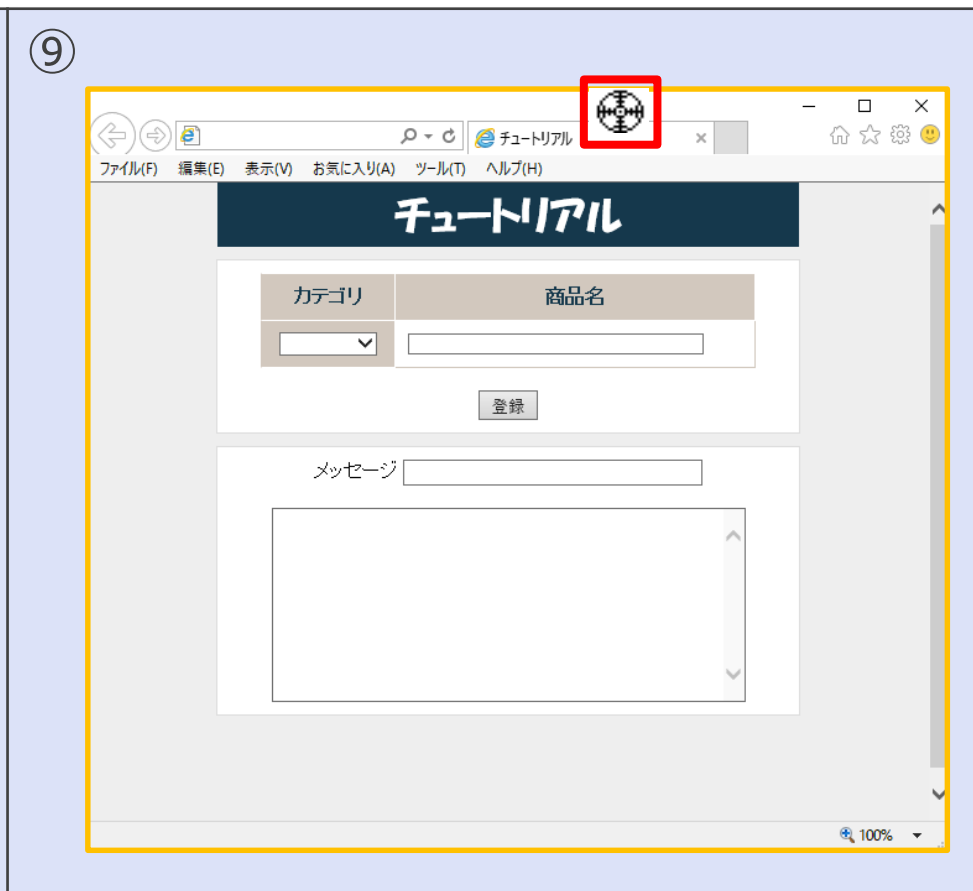
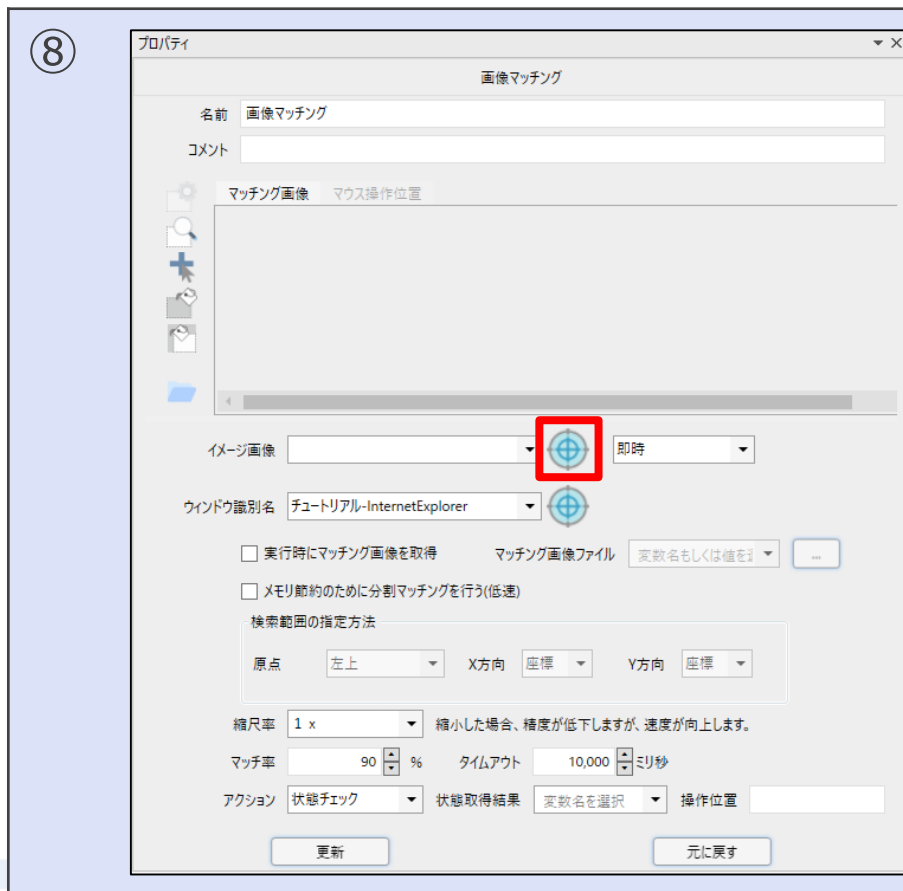
⑦



The screenshot shows the 'プロパティ' (Properties) window with the '画像マッチング' (Image Matching) tab selected. The '名前' (Name) field is '画像マッチング'. The 'ウィンドウ識別名' (Window Identification Name) dropdown menu is highlighted with a red box and shows 'チュートリアル-InternetExplorer'. Other settings include 'イメージ画像' (Image Image) set to '即時' (Immediate), '実行時にマッチング画像を取得' (Get matching image at execution) checked, 'メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)' (Perform segmented matching to save memory (low speed)) checked, '検索範囲の指定方法' (Search range specification method) with '原点' (Origin) set to '左上' (Top Left), 'X方向' (X direction) set to '座標' (Coordinates), and 'Y方向' (Y direction) set to '座標' (Coordinates). The '縮尺率' (Scale) is '1 x', 'マッチ率' (Match rate) is '90 %', and 'タイムアウト' (Timeout) is '10,000 ミリ秒' (10,000 milliseconds). The 'アクション' (Action) is '状態チェック' (Status Check) and '状態取得結果' (Status acquisition result) is '変数名を選択' (Select variable name). Buttons for '更新' (Update) and '元に戻す' (Reset) are at the bottom.

4.画像識別機能(画像マッチング)

- 次の手順で、対象となるアプリケーションウィンドウのイメージ画像を指定します。
- ⑧「プロパティ」画面「イメージ画像」の「ターゲット選択」ボタンをクリックします。
- ⑨「チュートリアル」画面のタイトルバーをクリックします。

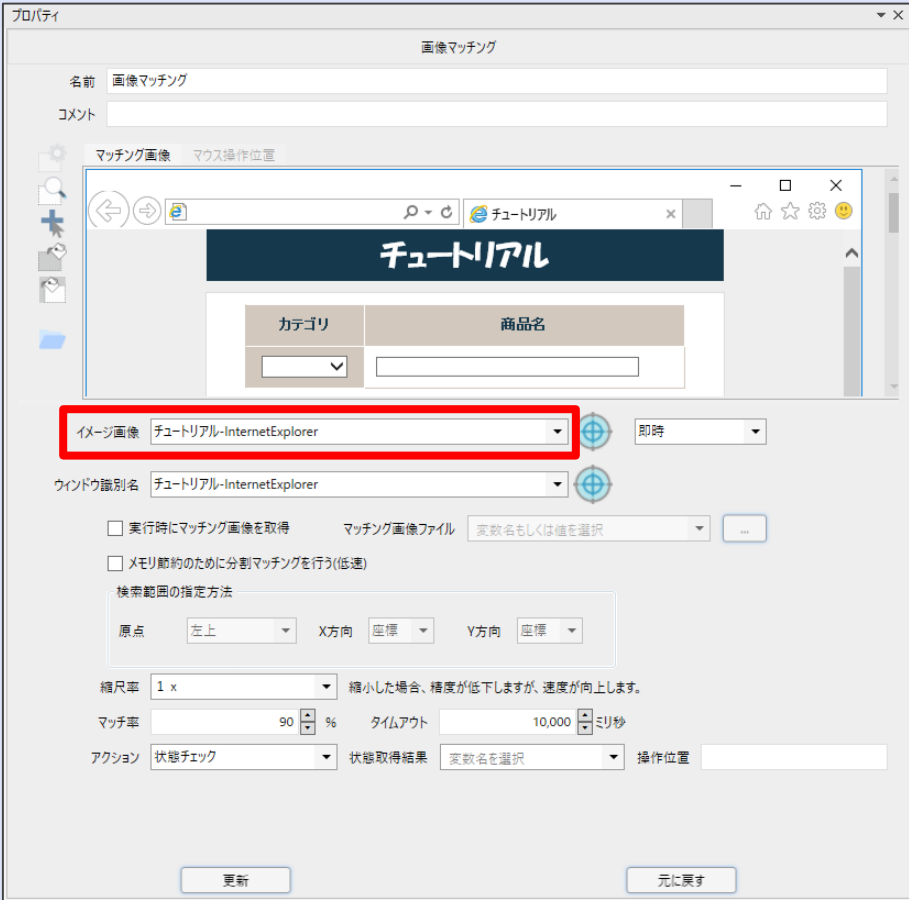


4.画像識別機能(画像マッチング)

- 対象となるアプリケーションウィンドウを確認します。

⑩「プロパティ」画面の「イメージ画像」に「チュートリアル-Internet Explorer」と取り込まれていることを確認してください。

⑩



プロパティ

名前 画像マッチング

コメント

マッチング画像 マウス操作位置

チュートリアル

チュートリアル

カテゴリ 商品名

イメージ画像 チュートリアル-InternetExplorer

即時

ウィンドウ識別名 チュートリアル-InternetExplorer

実行時にマッチング画像を取得 マatching画像ファイル 変数名もしくは値を選択

メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)

検索範囲の指定方法

原点 左上 X方向 座標 Y方向 座標

縮尺率 1 x 縮小した場合、精度が低下しますが、速度が向上します。

マッチ率 90 % タイムアウト 10,000 ミリ秒

アクション 状態チェック 状態取得結果 変数名を選択 操作位置

更新 元に戻す

4.画像識別機能(画像マッチング)

●「プロパティ」画面でクリックする箇所を指定します。

- ①「マッチング画像」ボタンをクリックします。(デフォルトで選択されています。)
- ②画面キャプチャした画像の中からマッチングを行う画像の範囲を指定します。
- ③「マウス操作位置」ボタンをクリックします。
- ④画面キャプチャの「登録」ボタンの上でクリックします。

The figure consists of four numbered screenshots (11-14) illustrating the image matching process in a 'プロパティ' (Property) window. Each screenshot shows a browser window with a 'チュートリアル' (Tutorial) page. The 'プロパティ' window has fields for '名前' (Name), 'コメント' (Comment), and 'マッチング画像' (Matching Image). A red box highlights the 'マッチング画像' button in screenshot 11. In screenshot 12, a red dashed box highlights the 'カテゴリ' (Category) dropdown menu in the browser. In screenshot 13, a red box highlights the mouse cursor icon in the 'プロパティ' window. In screenshot 14, a red dashed box highlights the '登録' (Register) button in the browser, and a red box highlights the mouse cursor icon in the 'プロパティ' window.

4.画像識別機能(画像マッチング)

●「プロパティ」画面で範囲指定した画像の場所をクリックする設定を行います。

⑮「アクション」から「左ボタンクリック」を選択します。

⑯「更新」ボタンをクリックします。

⑮

マッチ率 90 % タイムアウト 10,000 ミリ秒
アクション 状態チェック 状態取得結果 変数名を選択 操作位置 147,92

⑯

名前 画像マッチング
コメント

マッチング画像 マウス操作位置

イメージ画像 チュートリアル-InternetExplorer 即時
ウィンドウ識別名 チュートリアル-InternetExplorer

実行時にマッチング画像を取得 マatching画像ファイル 変数名もしくは値を...
 メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)

検索範囲の指定方法
原点 左上 X方向 座標 Y方向 座標

縮尺率 1 x 縮小した場合、精度が低下しますが、速度が向上します。
マッチ率 90 % タイムアウト 10,000 ミリ秒
アクション 左ボタンクリック 状態取得結果 変数名を選択 操作位置 147,92

更新 元に戻す


4.画像識別機能(画像マッチング)

●次の手順でシナリオを実行します。

⑰「ツールバー」の「シナリオ実行」ボタンをクリックします。

⑱「登録」ボタンがクリックされ、「登録結果」が記録されます。

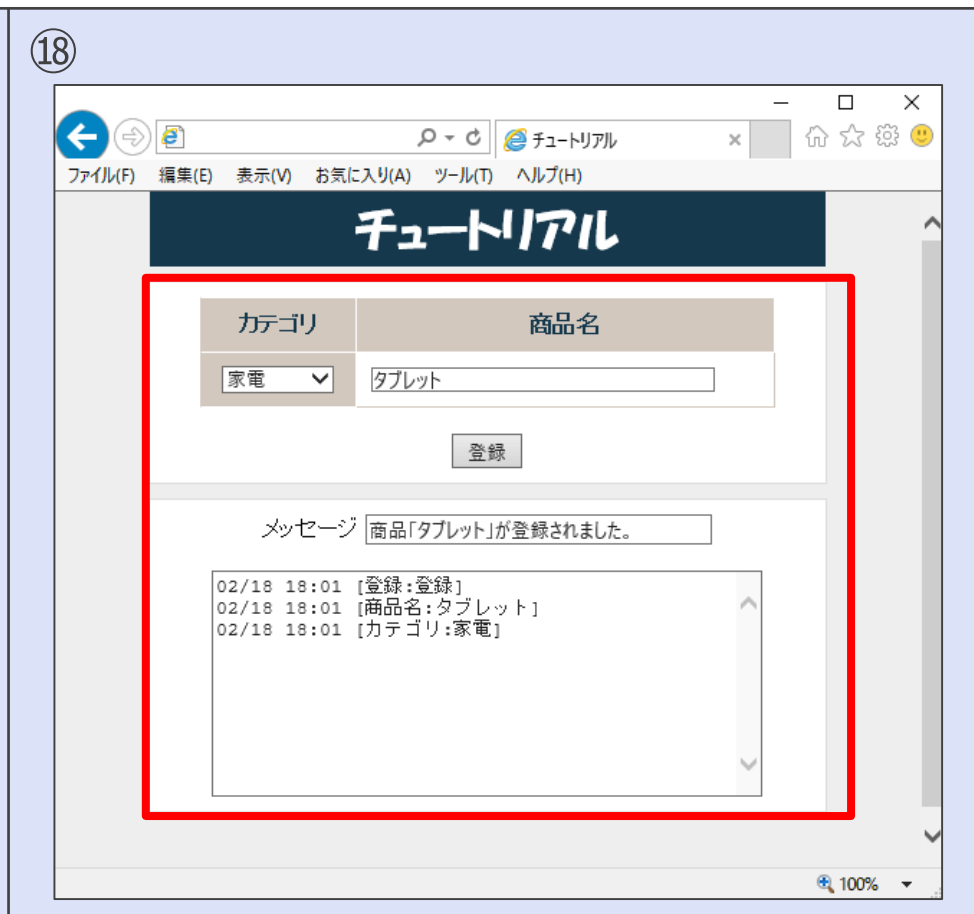
⑰



いシナリオ.ums7 [編集] - WinActor

フル機能版 **実行中** (0/1) 経過時間 [0

⑱



チュートリアル

カテゴリ	商品名
家電	タブレット

登録

メッセージ 商品「タブレット」が登録されました。

02/18 18:01 [登録:登録]
02/18 18:01 [商品名:タブレット]
02/18 18:01 [カテゴリ:家電]

5. ライブラリの活用 (Excelファイル操作)

- ① 指定セルの値を取得し、画面に入力する

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

- 商品登録.csvを使用します。

	A	B	C	D
1	カテゴリ	商品名		
2	パソコン	タブレットPC		
3	パソコン	ノートPC		
4	家電	液晶テレビ		
5	家電	DVDプレイヤー		
6	カメラ	デジタルカメラ		
7	携帯電話	スマートフォン		
8	携帯電話	PHS		

セル「A2」「B2」の値を取得し、変数に格納する
「リスト選択(IE)」、「文字列設定(IE)」に変数を引き渡し
チュートリアル「カテゴリ」と「商品名」欄へ反映させる

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

「メニューバー」>「表示」>「変数一覧」を選択して画面を表示します。
「変数一覧」画面で変数を管理します。
「変数一覧」画面で確認し、変数の初期値をあらかじめ入力しておくことができます。

グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値	マスク	コメント
グループなし	新しい変数		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	新しい変数1		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

番号	名称	機能
①	変数一覧ツールバー	「変数一覧」画面を操作するアイコンが配置されます。 ※実行版では表示されません。
②	変数表示エリア	変数の値が表示されます。

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

●次の手順でライブラリ「Excel操作（値の取得 2）」を配置します。

①「ライブラリ」パレット>「18_Excel関連」>「Excel操作（値の取得 2）」を「リスト選択（IE）」の上の領域にドラッグ＆ドロップします。

①

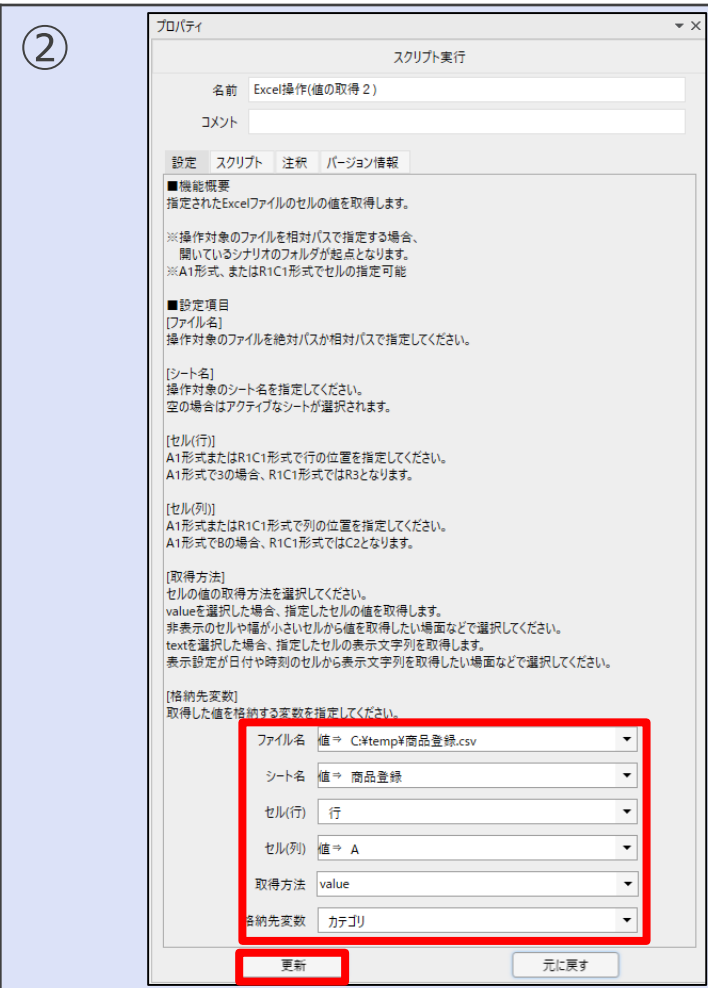
The image consists of two side-by-side screenshots of the WinActor software interface, illustrating the steps to add an Excel action to a scenario flowchart. A large blue arrow points from the left screenshot to the right one.

Left Screenshot: The 'ライブラリ' (Library) pane on the left shows a tree view of actions. Under '12_書式' (Formatting), the action 'Excel操作(値の取得 2)' (Excel Operation (Value Acquisition 2)) is highlighted with a red box. A red curved arrow points from this box to the 'Excel操作(値の取得 2)' action in the scenario flowchart on the right.

Right Screenshot: The scenario flowchart on the right shows a sequence of actions: '開始' (Start) -> 'グループ' (Group) -> 'エミュレーション' (Emulation) -> 'グループ' (Group) -> 'リスト選択 (IE)' (List Selection (IE)) -> '文字列設定 (IE)' (Text Setting (IE)) -> '画像マッチング' (Image Matching) -> '終了' (End). The 'Excel操作(値の取得 2)' action is now added to the flowchart, positioned above the 'リスト選択 (IE)' action and highlighted with a red box. The 'クリック (IE)' (Click (IE)) action is also visible on the right side of the flowchart.

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

- CSVファイルの「A2」セルのデータを読み取る操作を設定します。
 - ②「Excel操作（値の取得2）」の「プロパティ」画面を開き、以下の設定をします。



ファイル名	: 「商品登録.csv」のフルパス
シート名	: 商品登録
セル(行)	: 【行】
セル(列)	: A
取得方法	: 「value」のまま
格納先変数	: 【カテゴリ】

フルパス（絶対パス）の設定について

方法 1

- ①フルパスを取得したいファイルの上で、「Shift」キーを押しながら、右クリックします。
- ②メニューから「パスのコピー（A）」*をクリックします。
- ③WinActorのプロパティの対象箇所には貼り付けます。
- ④貼り付けた文字（パス）の前後にある"\"を削除します。

方法 2

- ①ファイルを「ファイル名」欄にドラッグ&ドロップします。

※この操作により操作対象のファイルを設定することができます。

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

【補足】「変数名もしくは値を選択」について

プロパティ

スクリプト実行

名前 Excel操作(値の取得 2)

コメント

設定 スクリプト 注釈 バージョン情報

■機能概要
指定されたExcelファイルのセルの値を取得します。

※操作対象のファイルを相対パスで指定する場合、
開いているシナリオのフォルダが起点となります。

※A1形式、またはR1C1形式でセルの指定可能

■設定項目

[ファイル名]
操作対象のファイルを絶対パスが相対パスで指定してください。

[シート名]
操作対象のシート名を指定してください。
空の場合はアクティブなシートが選択されます。

[セル(行)]
A1形式またはR1C1形式で行の位置を指定してください。
A1形式で3の場合、R1C1形式ではR3となります。

[セル(列)]
A1形式またはR1C1形式で列の位置を指定してください。
A1形式でBの場合、R1C1形式ではC2となります。

[取得方法]
セルの値の取得方法を選択してください。
valueを選択した場合、指定したセルの値を取得します。
非表示のセルや幅が小さいセルから値を取得したい場面などで選択してください。
textを選択した場合、指定したセルの表示文字列を取得します。
表示設定が日付や時刻のセルから表示文字列を取得したい場面などで選択してください。

[格納先変数]
取得した値を格納する変数を指定してください。

ファイル名 値⇒ C:\temp\商品登録.csv ①

シート名 値⇒ 商品登録

セル(行) 行 ②

セル(列) 値⇒ A

取得方法 value

格納先変数 カテゴリ

更新 元に戻す

「変数名もしくは値を選択」

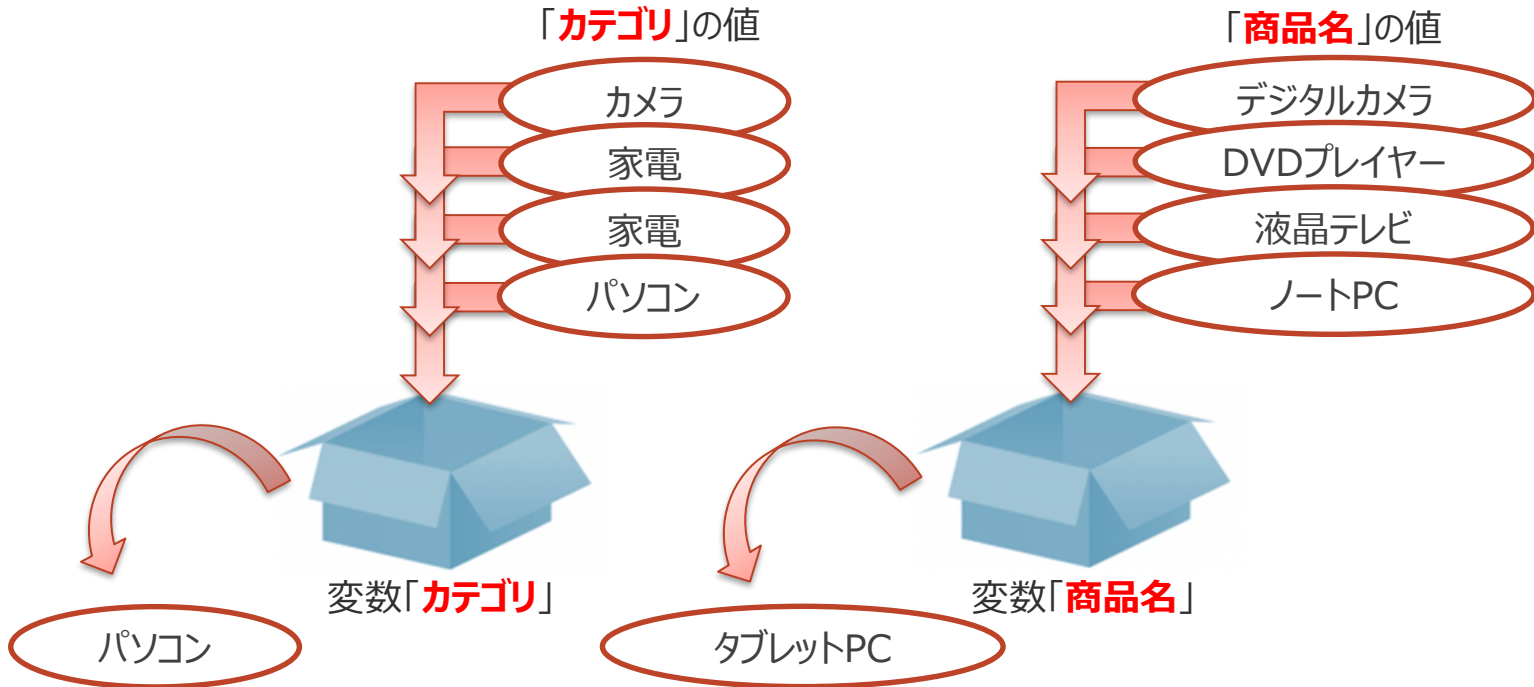
- ① 文字列を固定値としてそのまま設定する場合は『**値⇒**』の先にその内容を入力します。
- ② 『*』（アスタリスク）を選んで入力した場合は変数（後述）になります。

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

変数とはデータを一時的に記憶しておくための領域に任意の名前をつけたものです。変数に格納されている値を使用して、値を設定したり、演算などに何度も使用することができます。

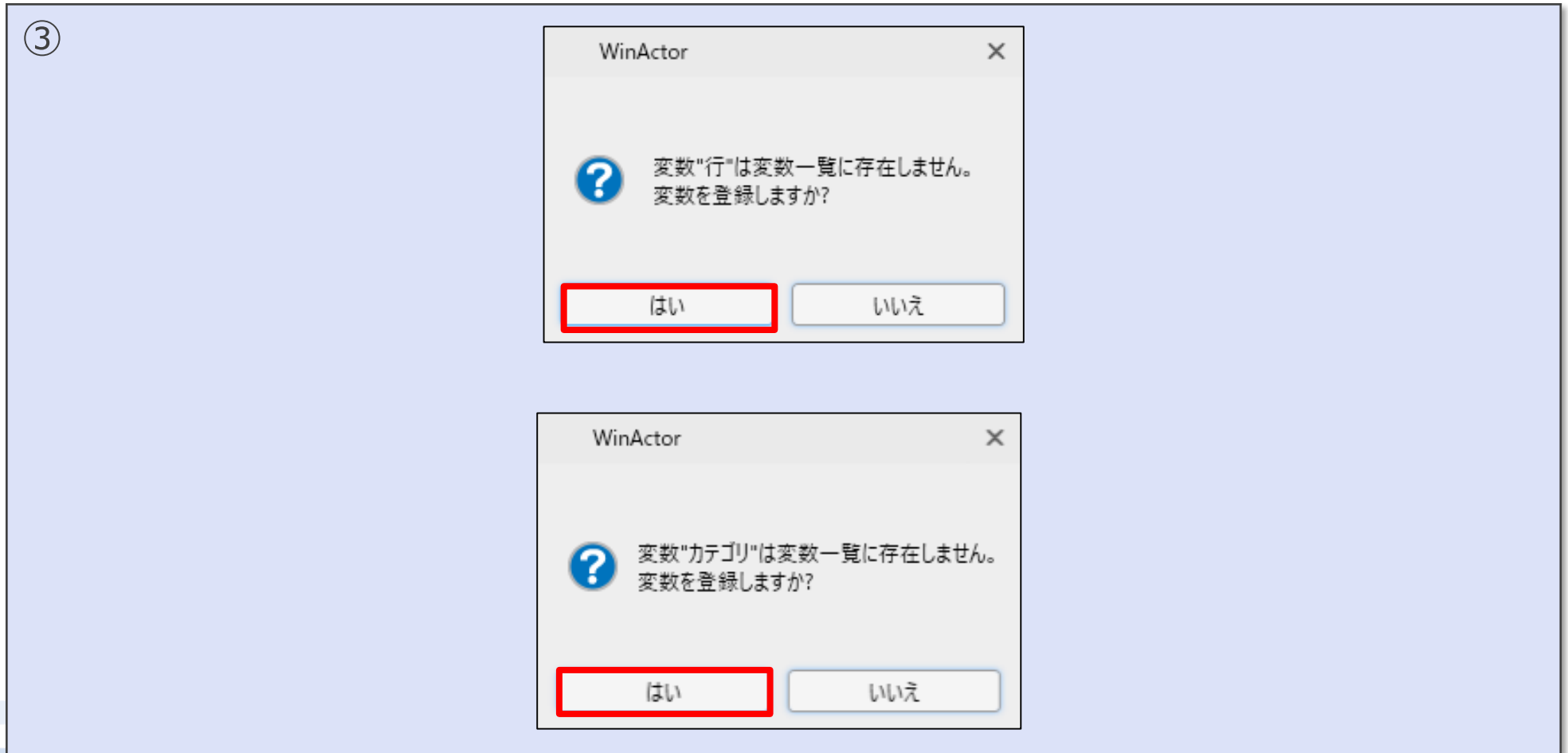
変数の中は1つのデータしか保持することができず、新しいデータが格納されると、前のデータは上書きされます。

※変数には、任意の名前を付けることができます。



5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

- 変数登録の確認画面を閉じます。
 - ③ 「はい」ボタンをクリックし、確認画面を閉じます。
※既に登録済みの場合、確認画面は表示されません。

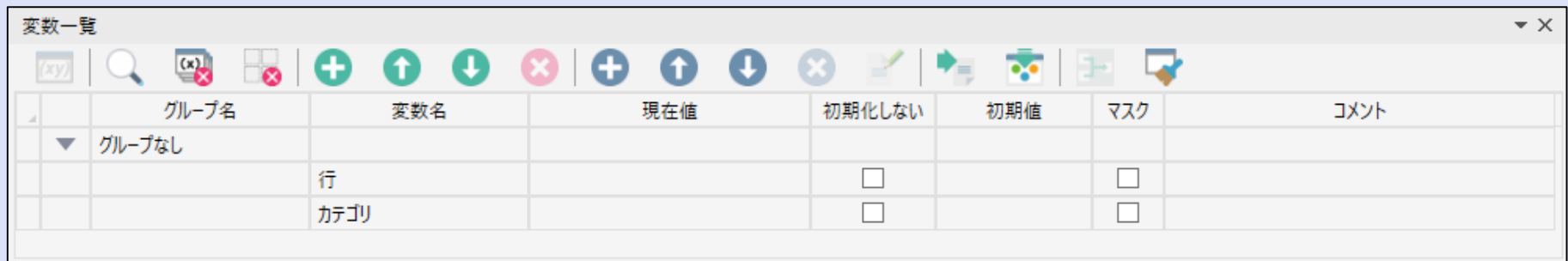


5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

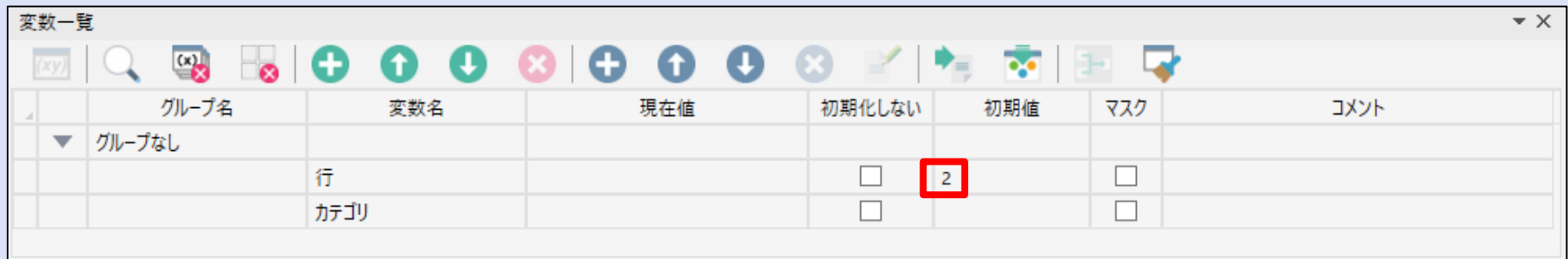
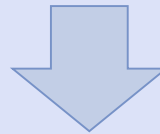
- 変数一覧の変数【行】に初期値を設定します。

④【行】の初期値に「2」を入力します。
(今回読み取りたい行数が2行目のため)

④



	グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値	マスク	コメント
▼	グループなし						
		行		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		カテゴリ		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	



	グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値	マスク	コメント
▼	グループなし						
		行		<input type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
		カテゴリ		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

- リスト選択（IE）の設定をします。

⑤「プロパティ」画面を開き「選択内容」をプルダウンリストから「カテゴリ」に変更します。

⑤

The image shows two side-by-side screenshots of the 'List Selection (IE)' dialog box, connected by a large blue arrow pointing from left to right. The left screenshot shows the 'Selection Content' dropdown menu with the value '値 → 家電' (Value -> Home Appliances) selected and highlighted with a red box. The right screenshot shows the same dialog box, but the 'Selection Content' dropdown menu now has 'カテゴリ' (Category) selected and highlighted with a red box. The dialog box contains the following fields: '名前' (Name) set to 'リスト選択 (IE)', 'コメント' (Comment) field, 'ウィンドウ識別名' (Window Identification Name) set to 'チュートリアル-InternetExplorer', and '対象コントロール指定' (Target Control Designation) set to '設定済' (Set). At the bottom, there are '更新' (Update) and '元に戻す' (Reset) buttons.

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

- 次の手順でライブラリ「Excel操作（値の取得 2）」を配置します。
 - ⑥ 「ライブラリ」パレット>「18_Excel関連」>「Excel操作（値の取得 2）」を「リスト選択（IE）」の上の領域にドラッグ＆ドロップします。

The image consists of two side-by-side screenshots of the WinActor software interface, illustrating the process of adding an Excel action to a scenario flowchart.

Left Screenshot: Shows the 'ライブラリ' (Library) pane on the left. The search results list includes 'Excel操作(値の取得 2)', which is highlighted with a red box. A red arrow points from this box to the 'Excel操作(値の取得 2)' action in the scenario flowchart on the right. The flowchart shows a sequence of actions: '開始' (Start), 'エミュレーション' (Emulation), 'Excel操作(値の取得 2)', 'リスト選択 (IE)', '文字列設定 (IE)', and '画像マッチング' (Image Matching), ending with '終了' (End).

Right Screenshot: Shows the same scenario flowchart, but now the 'Excel操作(値の取得 2)' action is placed in a red box above the 'リスト選択 (IE)' action, indicating it has been successfully added to the sequence.

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

- CSVファイルの「B2」セルのデータを読み取る操作を設定します。
 - ⑦「Excel操作（値の取得2）」の「プロパティ」画面を開き、以下の設定をします。

⑦

ファイル名	: 「商品登録.csv」のフルパス
シート名	: 商品登録
セル(行)	: 【行】
セル(列)	: B
取得方法	: 「value」のまま
格納先変数	: 【商品名】

5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

- 変数登録の確認画面を閉じます。
 - ⑧ 「はい」ボタンをクリックし、確認画面を閉じます。
※既に登録済みの場合、確認画面は表示されません。



5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

- 文字列設定（IE）の設定をします。

⑨「プロパティ」画面を開き「設定値」をプルダウンリストから「商品名」に変更します。

⑨

The image shows two side-by-side screenshots of the 'Properties' dialog box for 'String Settings (IE)'. The left screenshot shows the 'Setting Value' dropdown menu with '値 ⇒ タブレット' selected. The right screenshot shows the same dialog box with '商品名' selected in the 'Setting Value' dropdown menu. A blue arrow points from the left screenshot to the right screenshot, indicating the change.

プロパティ

文字列設定 (IE)

名前 文字列設定 (IE)

コメント

基本設定 詳細設定

ウィンドウ識別名 チュートリアル-InternetExplorer

対象コントロール指定 設定済

設定値 値 ⇒ タブレット

更新 元に戻す

プロパティ

文字列設定 (IE)

名前 文字列設定 (IE)

コメント

基本設定 詳細設定

ウィンドウ識別名 チュートリアル-InternetExplorer

対象コントロール指定 設定済

設定値 商品名

更新 元に戻す

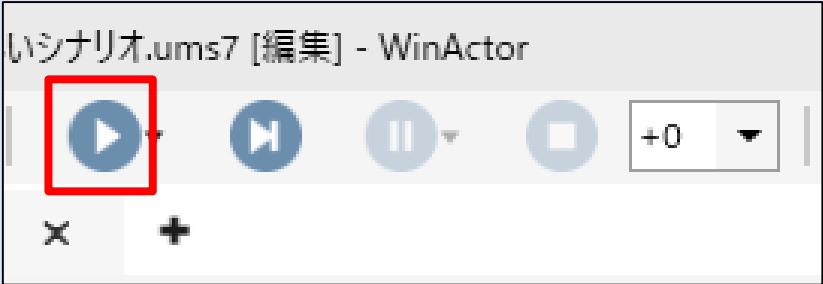
5.1. 指定セルの値を取得し、画面に入力する

●次の手順で「シナリオ」を実行します。

⑩「ツールバー」の「シナリオ実行」ボタンをクリックします。

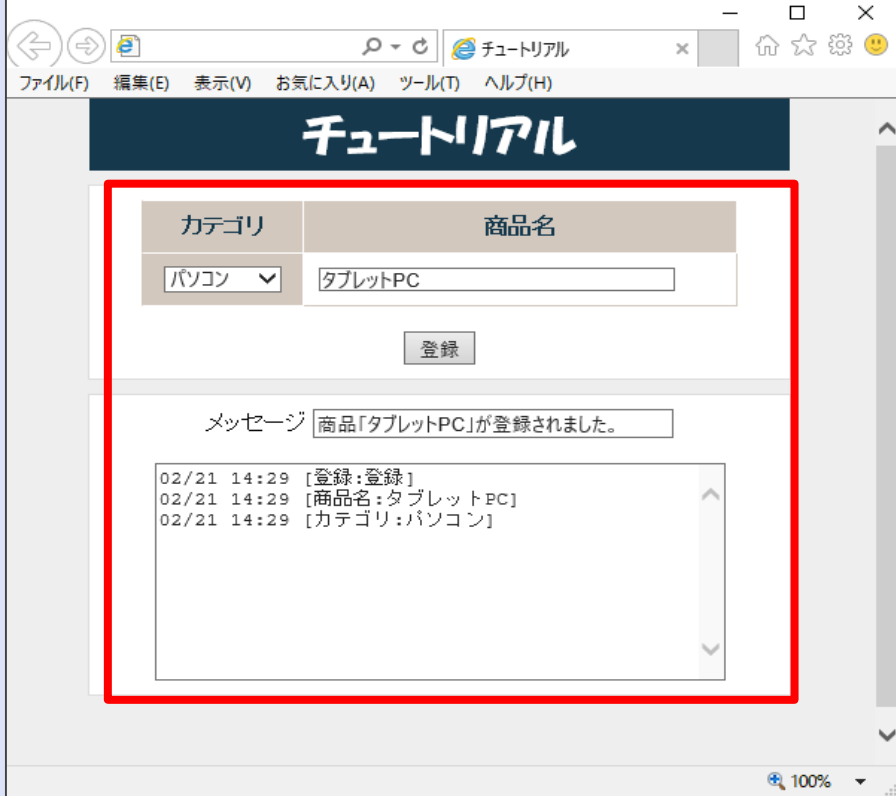
⑪「登録」ボタンがクリックされ、「登録結果」が記録されます。

⑩



いシナリオ.ums7 [編集] - WinActor

⑪



チュートリアル

カテゴリ	商品名
パソコン	タブレットPC

登録

メッセージ 商品「タブレットPC」が登録されました。

```
02/21 14:29 [登録:登録]
02/21 14:29 [商品名:タブレットPC]
02/21 14:29 [カテゴリ:パソコン]
```

フル機能版 **実行中** (0/1) 経過時間 [0]

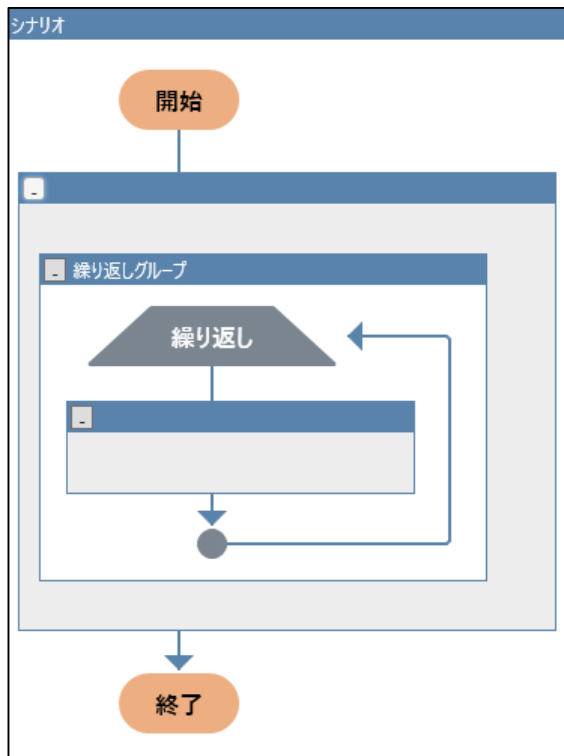
5. ライブラリの活用 (Excelファイル操作)

②行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

5.2.行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

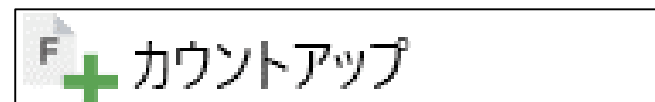
【繰り返し】とは・・・

設定した条件を満たしている間、指定した動作を繰り返し行う処理です。WinActorでは、繰り返しの処理を使用しなくてもシナリオは作成できますが、作成・修正に膨大な時間を必要とします。



【カウンタ変数】とは・・・

繰り返し処理にはカウンタ変数とよばれる変数が必要です。カウンタ変数は処理を何回実行するか、または実行したかを数えるような用途で使います。繰り返し処理に用いる変数という意味で「カウンタ変数」とよぶだけで普通の変数と同じです。

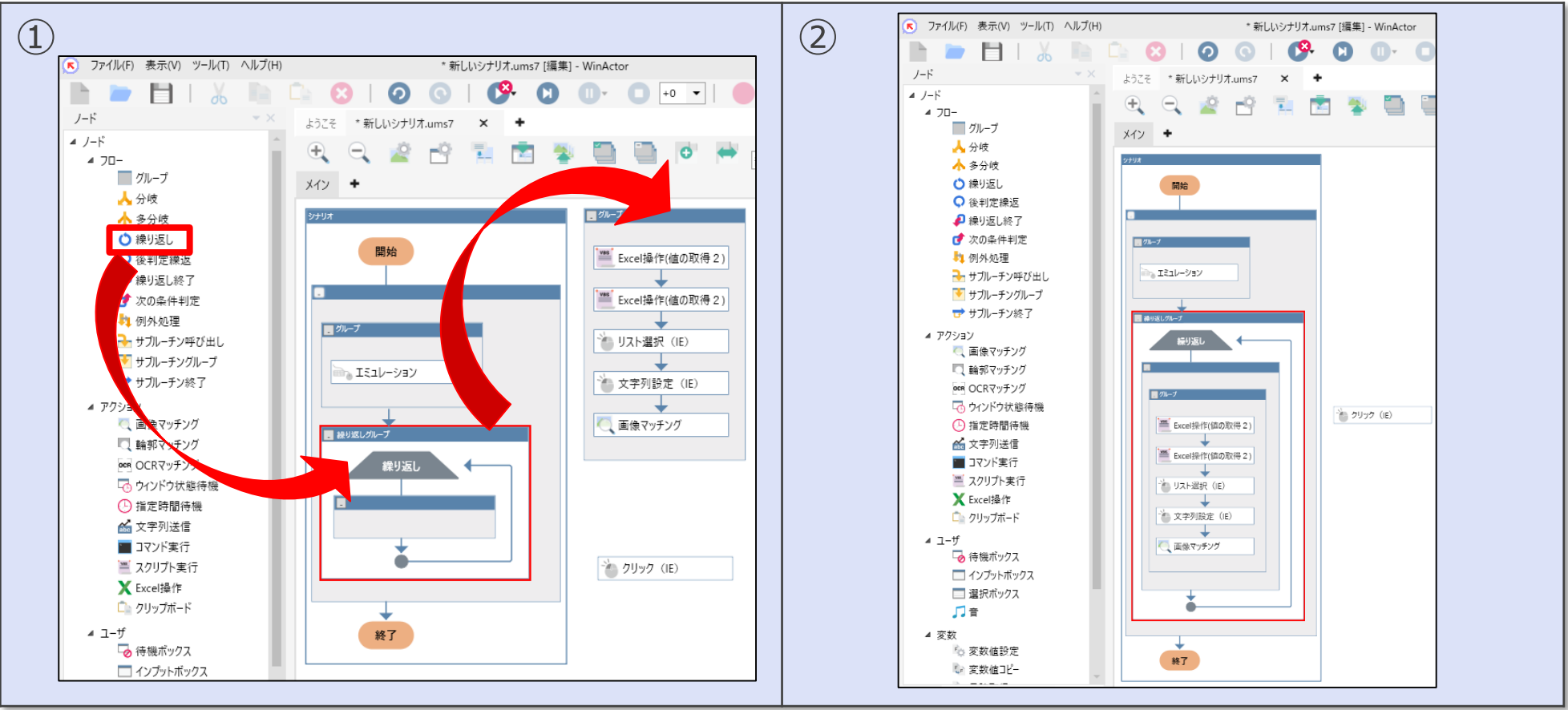


※ノード「カウントアップ」のプロパティで「加算値」を設定することによりカウンタ変数の値を増やすことができます。

5.2.行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

●次の手順でノード「繰り返し」を配置します。

- ①「Excel操作（値の取得 2）」の入った「グループ」を、「シナリオ」の枠外に出し「ノード」パレット > 「フロー」フォルダ > 「繰り返し」を「シナリオ」内「グループ」の下の領域にドラッグ&ドロップします。
- ②枠外に出した「グループ」を「繰り返し」の中の領域にドラッグ&ドロップします。



5.2.行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

●次の手順で繰り返しのプロパティを表示します。

③「繰り返し」の「プロパティ」画面を開きます。

③

The screenshot shows a software interface with a flowchart on the left and a '繰り返し' (Repeat) property dialog box on the right. The flowchart includes a '開始' (Start) node, a 'グループ' (Group) containing an 'エミュレーション' (Emulation) node, and a '繰り返しグループ' (Repeat Group) containing a '繰り返し' (Repeat) node and an 'Excel操作(値の取得2)' (Excel operation (value acquisition 2)) node. The '繰り返し' node is highlighted with a red box. The '繰り返し' property dialog box is open, showing the name '繰り返しグループ' (Repeat Group) and various configuration options for the repeat action.

プロパティ

繰り返し

名前 繰り返しグループ

コメント

条件式

回数 変数名もしくは値を選択

範囲 変数名もしくは値を選択 から 変数名もしくは値を選択

データ数 データファイル名 変数名もしくは値を選択

データ数 (DB連携) データソース名 変数名もしくは値を選択

ユーザ名 変数名もしくは値を選択

パスワード 変数名もしくは値を選択

テーブル名 変数名もしくは値を選択

5.2.分岐と繰り返しを組み合わせる値を取得し、画面に繰り返し入力する

●次の手順で繰り返しの回数を設定します。

④「回数」のラジオボタンをクリックします。

⑤プルダウンリストから「値⇒」を選択後、「7」を入力します。(今回は7回繰り返し登録作業を行う)

The image displays two sequential screenshots of a software configuration window titled 'プロパティ' (Properties) and '繰り返し' (Repeat). The window contains fields for '名前' (Name) and 'コメント' (Comment), and several radio button options: '条件式' (Condition), '回数' (Number of times), '範囲' (Range), 'データ数' (Data count), and 'データ数 (DB連携)' (Data count (DB connection)).

④ In the first screenshot, the '回数' radio button is selected and highlighted with a red box. The '条件式設定' (Condition setting) button is also highlighted.

⑤ In the second screenshot, the '回数' radio button remains selected. The '値⇒' (Value) dropdown menu is selected and highlighted with a red box, showing the value '7'. The '更新' (Update) button at the bottom is also highlighted with a red box.

5.2.行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

- 次の手順でノード「カウントアップ」を配置します。
 - ⑥「ノード」パレット>「変数」フォルダ >「カウントアップ」を「画像マッチング」の下にドラッグ&ドロップします。

⑥

The image displays two side-by-side screenshots of the WinActo software interface, illustrating the process of adding a 'Count Up' node to a flowchart. Both screenshots show a 'Node' palette on the left and a 'Scenario' editor on the right. The flowchart in the scenario editor consists of several nested loops: an outer 'Repeat' loop containing an 'Image Matching' node, followed by an inner 'Repeat' loop containing an 'Excel' node, and a 'Repeat' loop containing a 'List Selection' node, a 'Text Setting' node, and an 'Image Matching' node. In the left screenshot, the 'Count Up' node is highlighted in the 'Variables' folder of the node palette, with a red arrow pointing to it. In the right screenshot, the 'Count Up' node is shown being dragged and dropped into the flowchart, positioned below the 'Image Matching' node in the innermost loop. A blue arrow points from the left screenshot to the right one, indicating the transition from selection to placement.

5.2.行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

●次の手順でノード「カウントアップ」の「プロパティ」を設定します。

- ⑦「カウントアップ」の「プロパティ」を開きます。
- ⑧計算結果はプルダウンリストから【行】を選択します。
- ⑨加算値は「1」のままにします。
(【行】の値を1ずつ加算していきます)

The image displays three sequential screenshots of the 'プロパティ' (Properties) dialog box for the 'カウントアップ' (Count Up) node. Each screenshot shows the following fields: '名前' (Name) set to 'カウントアップ', 'コメント' (Comment) empty, '計算結果' (Calculation Result) as a dropdown menu, and '加算値' (Increment Value) as a numeric input field with a spinner. Buttons for '更新' (Update) and '元に戻す' (Reset) are at the bottom.

- ⑦** The '計算結果' dropdown is set to '変数名を選択' (Select variable name).
- ⑧** The '計算結果' dropdown is set to '行' (Row), highlighted with a red box.
- ⑨** The '加算値' is set to '1', and the '更新' button is highlighted with a red box.

5.2.行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

●次の手順でライブラリ「ウィンドウを閉じる」を配置します。

⑥「ライブラリ」パレット>「11_ウィンドウ関連」フォルダ >「ウィンドウを閉じる」を繰り返しグループの下にドラッグ & ドロップします。

The image consists of two side-by-side screenshots of the WinActor software interface, illustrating the configuration of a 'Close Window' action within a loop.

Left Screenshot: Shows the 'ライブラリ' (Library) pane on the left. The '11_ウィンドウ関連' (11 Window Related) folder is expanded, and the 'ウィンドウを閉じる' (Close Window) action is highlighted with a red box. A red arrow points from this action to the '繰り返しグループ' (Repeat Group) in the main workspace.

Right Screenshot: Shows the same workspace after the 'ウィンドウを閉じる' action has been added to the '繰り返しグループ'. The action is now visible in the flowchart, and it is also highlighted with a red box. The flowchart shows a sequence of actions: 'Excel操作(値の取得 2)', 'リスト選択 (IE)', '文字列設定 (IE)', '画像マッチング', and 'カウントアップ', followed by the 'ウィンドウを閉じる' action, which then loops back to the start of the '繰り返しグループ'.

5.2.行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

- 次の手順でライブラリ「ウィンドウを閉じる」の「プロパティ」を設定します。
 - ⑦ 「ウィンドウを閉じる」の「プロパティ」画面を開き、「ターゲット選択」ボタンをクリックし、「商品登録.csv」ファイルを選択します。設定完了後、「更新」をクリックします。

⑦

The image shows two sequential screenshots of a software interface. The first screenshot on the left shows a dialog box titled 'プロパティ' (Properties) with a sub-header 'スクリプト実行' (Script Execution). It contains a '名前' (Name) field with 'ウィンドウを閉じる' (Close Window) and a 'コメント' (Comment) field. Below these are tabs for '設定' (Settings), 'スクリプト' (Script), '注釈' (Annotations), and 'バージョン情報' (Version Information). The '設定' tab is active, showing a description: 'ウィンドウ識別名で指定したウィンドウを閉じます。' (Close the window specified by the window identification name). There is a 'ウィンドウ識別名' (Window Identification Name) dropdown menu and a target selection icon. At the bottom are '更新' (Update) and '元に戻す' (Reset) buttons. A blue arrow points to the second screenshot on the right, which shows the same dialog box but with the 'ターゲット選択' (Target Selection) dialog box open. In this dialog, the 'ウィンドウ識別名' dropdown is set to '商品登録.csv-Excel' and is highlighted with a red box. The '更新' button at the bottom is also highlighted with a red box.

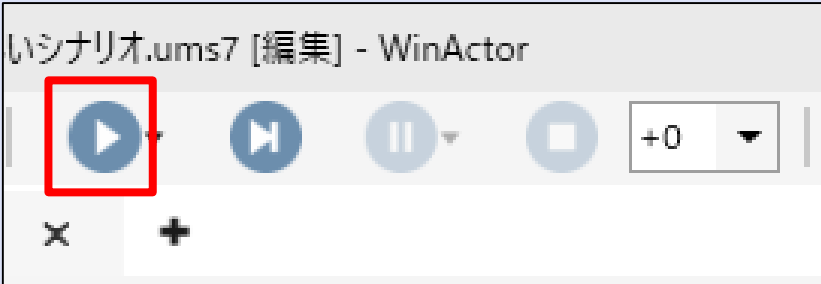
5.2.行ごとに値を取得し、画面に繰り返し入力する

●次の手順で「シナリオ」を実行します。

⑧ 「ツールバー」の「シナリオ実行」ボタンをクリックします。

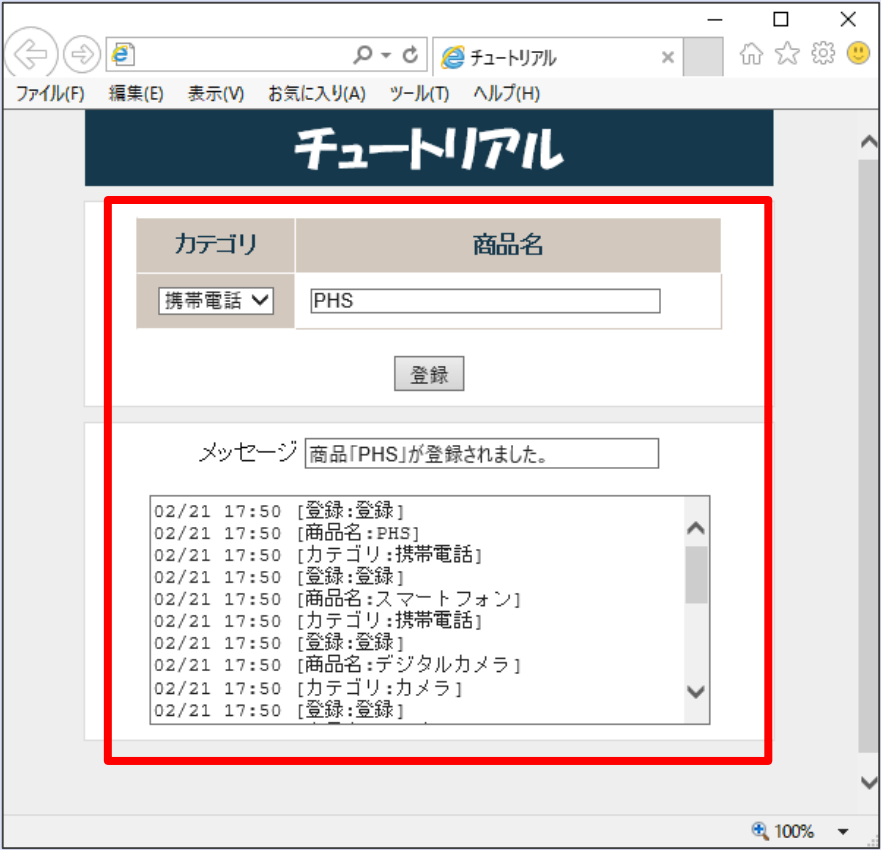
⑨ ファイル「商品登録.csv」のデータをデータ件数分転記し終わったら、シナリオが自動的に終了します。

⑧



いシナリオ.ums7 [編集] - WinActor

⑨



チュートリアル

カテゴリ	商品名
携帯電話	PHS

登録

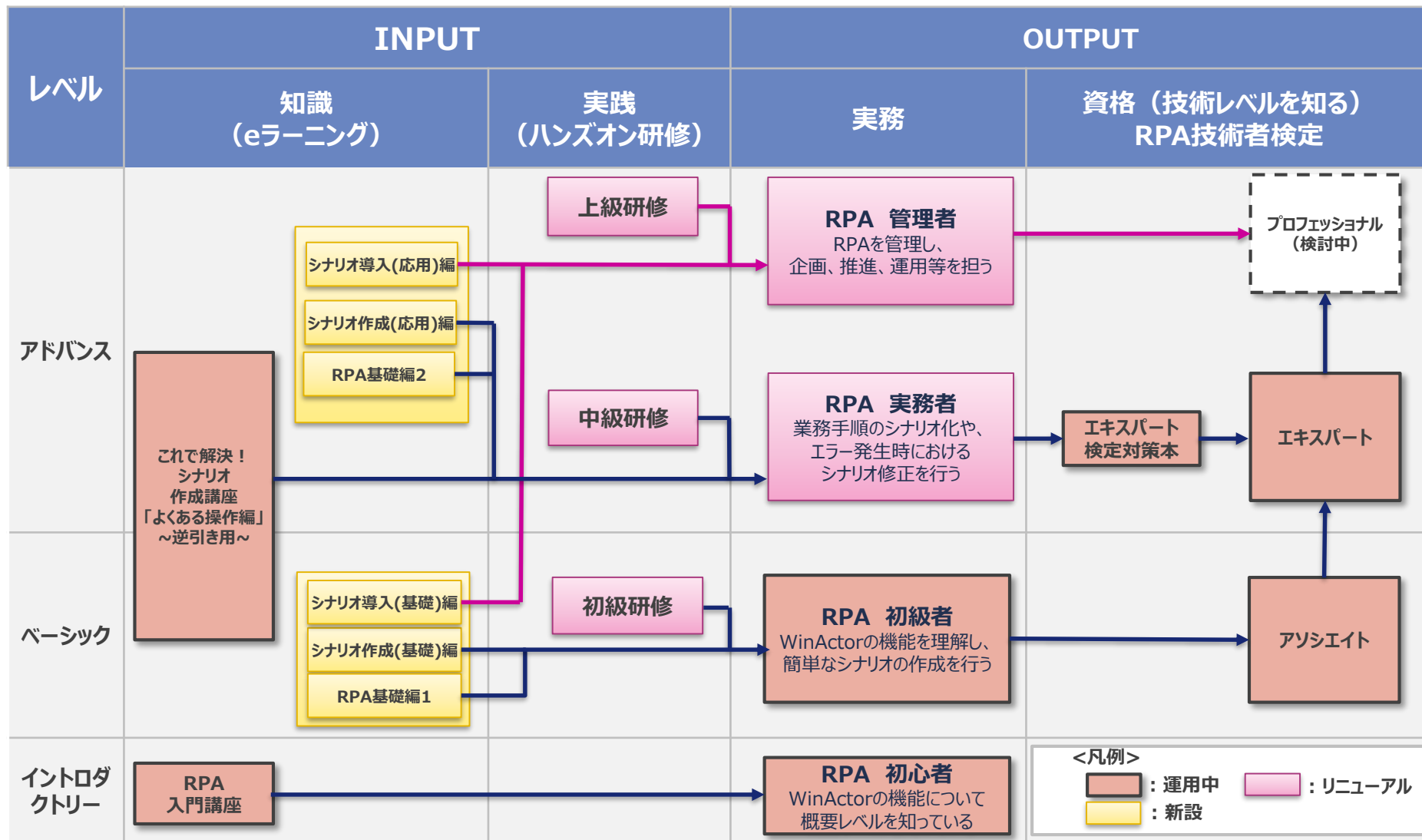
メッセージ 商品「PHS」が登録されました。

02/21 17:50 [登録:登録]
02/21 17:50 [商品名:PHS]
02/21 17:50 [カテゴリ:携帯電話]
02/21 17:50 [登録:登録]
02/21 17:50 [商品名:スマートフォン]
02/21 17:50 [カテゴリ:携帯電話]
02/21 17:50 [登録:登録]
02/21 17:50 [商品名:デジタルカメラ]
02/21 17:50 [カテゴリ:カメラ]
02/21 17:50 [登録:登録]

フル機能版 **実行中** (0/1) 経過時間 [0]

6. 教育研修のご案内

教育体系図



レベル別研修のご案内

レベルに沿った研修をご用意しております。

■ 研修実施機関

初級・中級・上級 (<https://cobotpia.com/gym/learn/index.html>)

コース	初級	中級	上級
対象者	WinActorに初めて触れる方	基本操作および簡単なシナリオ作成ができる方	WinActorのシナリオ開発を管理したいと考えている方
内容	基本的な機能の説明とともに、簡単なシナリオ作成を通じて使い方の理解を深めます。	実践的な例題によるシナリオ作成・講師による解説を通じ、効果的なシナリオ作成を実現するための知識を養います。	シナリオ開発までの流れを分析・開発・計画・保守の4つのポイントに分けて解説し、RPA管理者としてRPAを管理し、企画、推進、運用等を担えるようにする。
時間	7時間×1日	7時間×2日	7時間×1日

eラーニングのご案内 1 –NTTデータ「公式」eラーニング–

自主学習用としてeラーニングもご用意しております。

■コンテンツ提供機関

- ・NTTデータ (https://winactor.com/e_learning/ntt-official/)
- ・Web完結トライアル (https://winactor.com/web_trial_inquiry/)

※現在Web完結トライアルをお申込みいただくと、簡易版を無料でご受講いただけます。

■特徴

- ・シナリオ作成者養成研修に比べ約1.5～2倍のコンテンツボリューム
- ・WinActor ver.6、ver.7に完全対応
- ・PCの他スマートフォンでも視聴可能

■視聴期間

- ・60日間 ※WinActorのトライアルライセンスも利用可能

レベル	講座名	目的
ベーシック	G1 (RPA基礎編1)	RPAを作成するうえで必要なIT基礎知識 (分岐、繰返し、変数、サブルーチン、フローチャート) の習得及びWinActorの主な使用方法の理解
	G2 (シナリオ作成 (基礎) 編)	シナリオを作成する上で必要となるノード、ライブラリにおける主な機能の理解
	G3 (シナリオ導入 (基礎) 編)	自動化対象業務に対して、自動化を行った場合に期待される効果と開発費用を比較し、効果を分析。
	ベーシックセット講座	ベーシック3種のeラーニング講座をセット割引にて販売しております。

RPA技術者検定

WinActorの資格試験にチャレンジ！
各自のスキルアピールや明確な目標設定としてお役立てください。

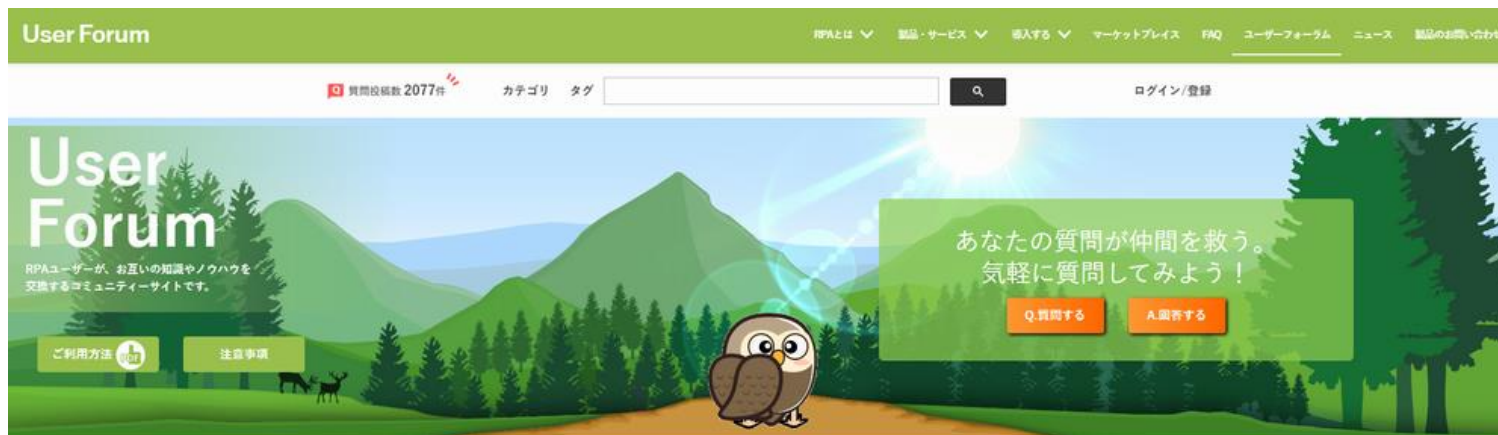
■ RPA技術者検定サイト (<http://watest.jp/index.html>)

※以下執筆時点の情報のため、詳しくはRPA技術者検定サイトをご確認ください

レベル	アソシエイト	エキスパート
目的	「WinActor」により業務の自動化に取り組むユーザーや、「WinActor」を提供する側の技術者等の評価	
対象者	□ 「WinActor」の基本が身につけており、独力で複雑なシナリオを構築できる方	□ 「WinActor」に関する深い知識を有し、シナリオ構築において何か障害があったとしても、別の手段により構築できる方
試験形式	CBT※注3多肢選択式	選択式 + 実技試験
出題数	50問	選択式問題30問 + 実技試験問題3問
試験時間	60分	120分
受験資格	特になし	特になし
受験料	7,150円/回 (税込)	27,500円/回 (税込)
試験会場	全国150箇所	札幌・仙台・東京・名古屋・ 大阪・広島・福岡
試験頻度	随時	4回/年
合格基準	□ 原則として、正答率7割以上を合格。 □ ただし、問題の難易度等により変動する場合あり。	□ 原則として、正答率6割以上を合格。 □ ただし、問題の難易度等により変動する場合あり。(第9回時点)

ユーザーフォーラムのご案内 1

ユーザーフォーラム（URL：<https://winactor.com/questions/>）は、ユーザー同士で質問し回答を得たり、RPAに関する情報や話題を交換したりすることで、お互いの知識やノウハウを共有することを目的としたコミュニケーションサイトです。また、過去の質問や回答を参照することで、問題解決や、知識を深めることに役立ちます。



ユーザーフォーラムのご案内 2

過去の質問の参照は誰でも自由に行えますが、アカウントを登録することで質問の投稿や「サークル」機能等の様々な機能を利用することができます。

アカウントは次ページ以降の方法で、簡単に登録することができます。
是非ご活用ください！



アカウントを登録することで
各機能が利用可能になります。

ユーザーフォーラムのご案内3 –アカウントを登録する–

- (1) <https://winactor.com/questions/>にアクセスします。
- (2) 「ログイン/登録」をクリックします。
- (3) 表示された画面内の「新規会員登録」をクリックします。

The screenshot displays the User Forum homepage. At the top right, the 'ログイン/登録' (Login/Register) button is highlighted with a red box. A yellow callout box points to this button with the text: 「ログイン/登録」クリック後に、「新規会員登録」をクリック (After clicking 'Login/Register', click 'New Member Registration'). Below the callout, the registration form is visible, with the '新規会員登録' (New Member Registration) button highlighted by another red box. The form includes fields for 'ユーザー名またはメールアドレス' (Username or email address) and 'パスワード' (Password), along with a 'パスワードを再入力してください' (Please re-enter your password) field. There are also checkboxes for 'ログイン状態を保存する' (Save login status) and a 'パスワードをお忘れの方' (Forgot password) link. The 'マイメニュー' (My Menu) section on the right contains icons for 'プロフィール' (Profile), 'ユーザーフォーラム' (User Forum), 'サークル' (Circle), 'ユーザータイプ検索' (User Type Search), '案件集' (Job Listings), 'シナリオ共有' (Scenario Sharing), 'DXマーケットプレイス' (DX Marketplace), 'メッセージ' (Message), and 'お問い合わせ' (Contact Us). The main content area shows a list of forum posts with titles like '【頑張る皆様を応援します！】無償提供！公式eラーニング、自治体様向けAI-OCRサービス' and '【フォーラム運営チームより】Winactor.comの不具合に伴うユーザー再登録のお願い'.

ユーザーフォーラムのご案内 4 –アカウントを登録する–

- (4) 「ログイン情報・プロフィールの登録」の各項目を入力し、「登録を完了」をクリックします。
※全てのサービスを利用するには、全項目の入力が必要です。

ご利用について
ご登録の際は、注意事項に同意したものとみなします。
事前にご確認をお願いします。
尚、退会をご希望される際は、お手数ですがお問い合わせフォームにてご依頼ください。

登録について
以下の項目の入力をお願い致します。
ログイン情報、「氏名」、「会社名 or 学校名」は他ユーザーに公開されません。
※全てのサービスを利用するには「氏名」、「会社名 or 学校名」、「業界」、「職種」の入力が必要です。

ログイン情報・プロフィールの登録
*は必須入力です

ログインID※登録後の変更はできません。*	ニックネーム*
<input type="text"/>	<input type="text"/>
メールアドレス*	氏名
<input type="text"/>	<input type="text"/>
ログインパスワード* ※パスワードは8文字以上で英大文字、英小文字、数字全てを含んだ文字列として下さい。記号は任意で使用可能です。	会社名 or 学校名
<input type="password"/>	<input type="text"/>
ログインパスワードの確認*	業界
<input type="password"/>	-----▼
	職種
	-----▼

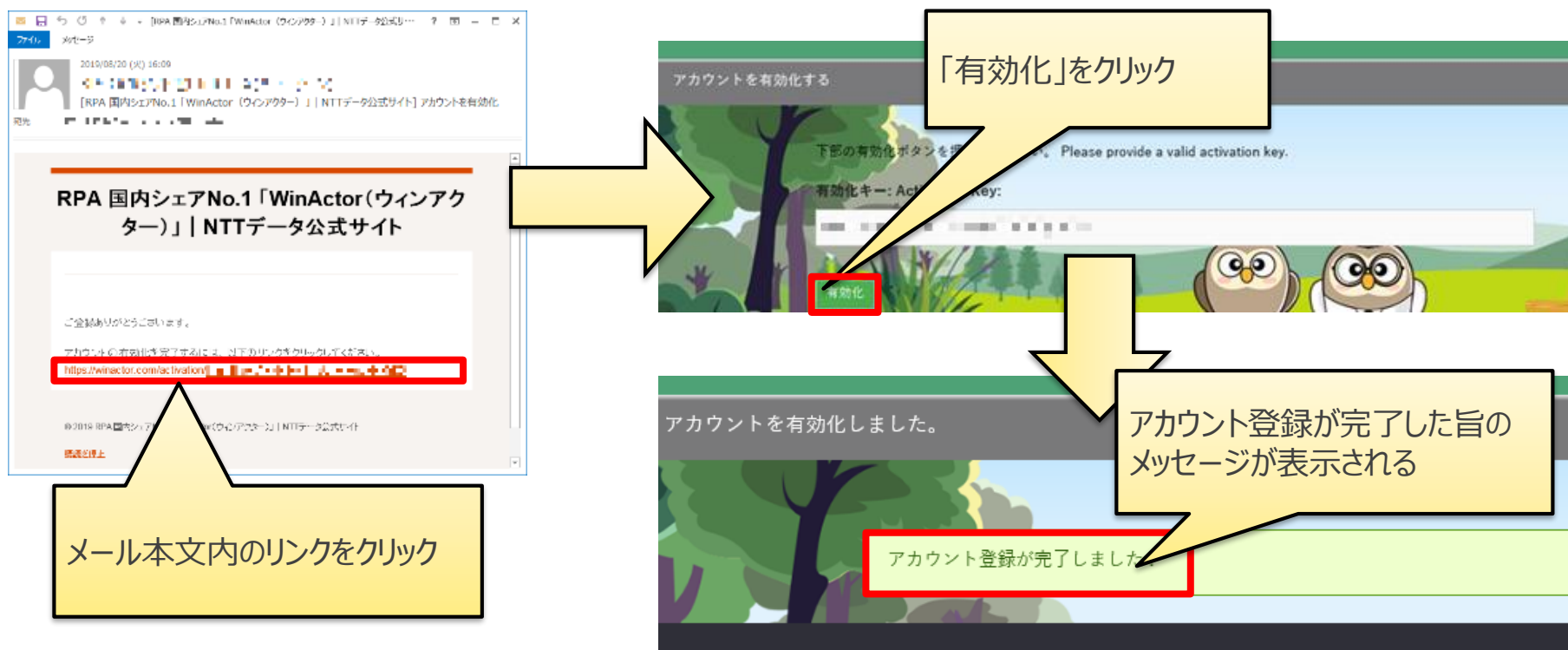
各項目入力後に「登録を完了」をクリック

「ログインID」はログイン時に使用するIDのため、他のユーザーが使用しているIDは登録できません。また、「ニックネーム」以外の項目は他のユーザーには公開されません。



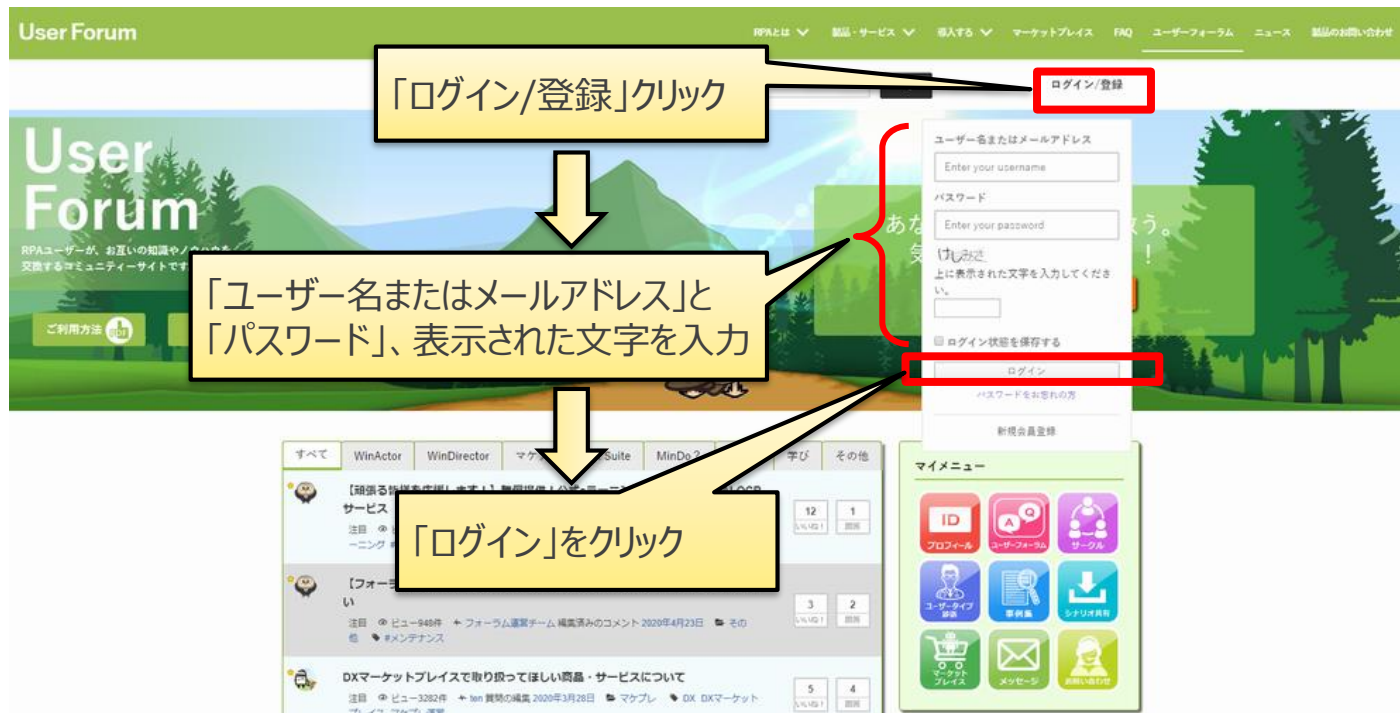
ユーザーフォーラムのご案内5 –アカウントを登録する–

- (5) 登録後、暫くするとアカウント有効化メールが送付されるので、リンクをクリックして「有効化」をクリックします。
※72時間以内にアカウントを有効化されない場合は、再度アカウント登録が必要となります。



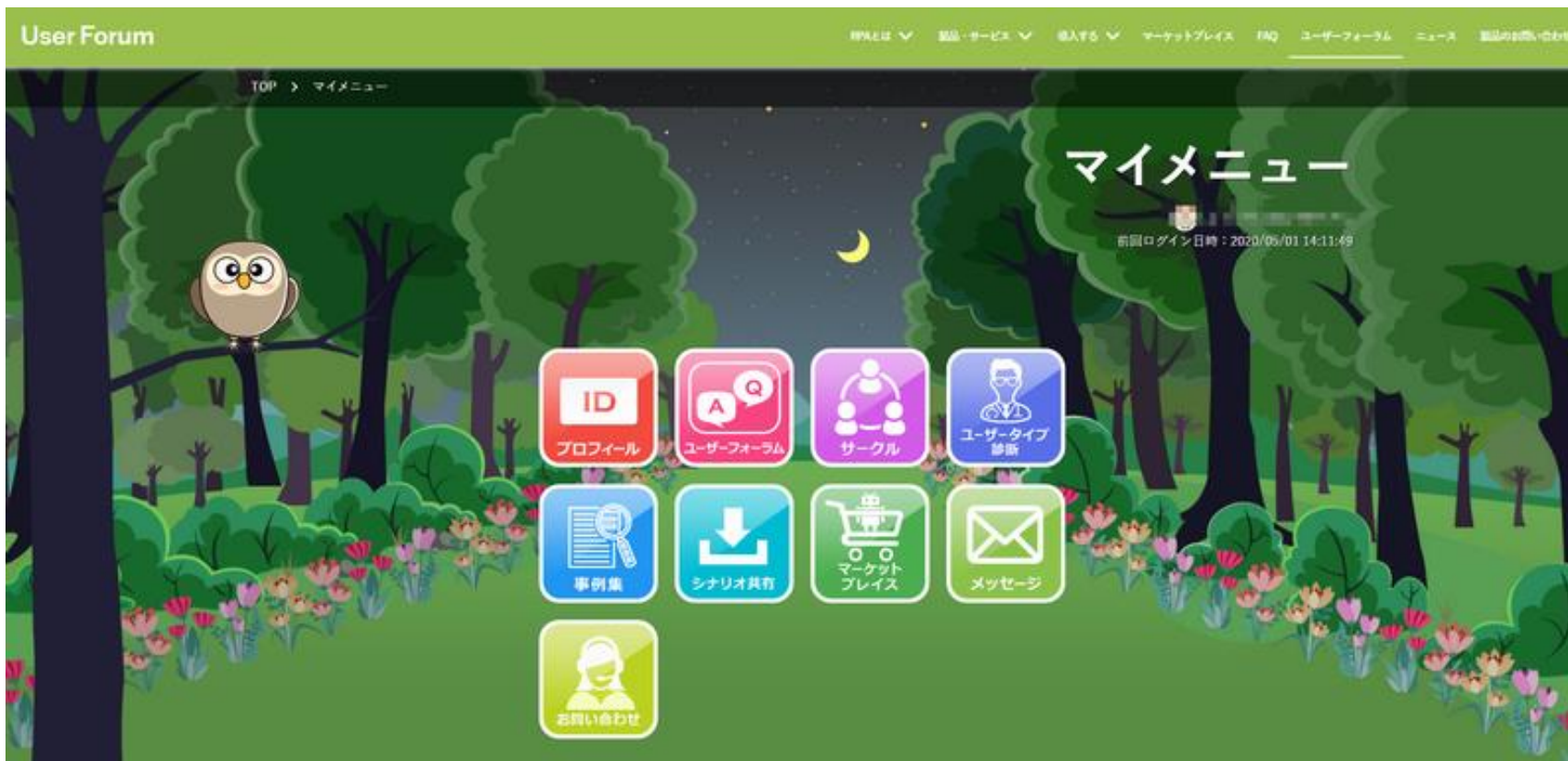
ユーザーフォーラムのご案内 6 –ユーザーフォーラムにログインする–

- (1) <https://winactor.com/questions/>にアクセスします。
- (2) 「ログイン/登録」をクリックします。
- (3) 画面内の「ユーザー名またはメールアドレス」、「パスワード」と表示された文字（下図であれば「けし~~みさ~~」⇒けしみさ）を入力し、「ログイン」をクリックします。
※ここで入力する「ユーザー名」とはアカウント作成時に登録した「ログインID」のことです。



ユーザーフォーラムのご案内 7 ユーザーフォーラムにログインする

(4) ログインに成功すると、マイメニューが表示されます。



詳細な利用方法につきましては、ユーザーフォーラムTOP画面にあります「ご利用方法」から、ユーザーフォーラム利用手順書をご参照ください。

ユーザーフォーラムのご案内 8 –FAQ–

No.	Question	Answer
1	PWを忘れてログインできなくなりました。初期化する方法を知りたいです。	次の手順で初期化することができます。 ①ユーザーフォーラムのTOP画面で「ログイン/登録」をクリック ②表示された画面内の「パスワードをお忘れの方」をクリック ③ユーザー名またはメールアドレスを入力し、「新しいパスワードを取得」をクリック ④暫くすると登録してあるメールアドレス宛にパスワード初期化メールが届くのでリンクをクリック後、新しいパスワードを設定
2	アカウントがロックされました。どうすれば良いでしょうか。	暫くお待ちいただければ解除されます。 大変お手数ですが、時間を置いてからログインをお願いします。 ※セキュリティ上、解除時間は非開示とさせていただきます。
3	「回答」と「コメント」はどのように使い分ければ良いですか。	次のように使い分けて頂けると幸いです。 回答・・・「投稿した質問」に対して、何かしらの「回答」を行う際に使用 コメント・・・「投稿した質問」や「回答」に対して、補足説明、確認、お礼を伝える際に使用 ※「コメント」なので、内容が「回答」である必要はありません。
4	正しい情報を入力しているはずですが、ログインができません。どうすれば良いでしょうか。	正しい情報を入力しているにも関わらずログインができない場合、キャッシュ・Cookieが影響している可能性が考えられます。 一度ブラウザのキャッシュ・Cookieを削除してログインをお試しください。



NTT DATA

Trusted Global Innovator